

SHIZUOKA

# J·O·U·R·N·A·L

Vol.8 No.2 1998(通巻131号)

目 次

会 告	創立50周年 記念式典 記念講演会 記念祝賀会の開催について	1
	学術論文募集	2
	第7回 MR I 部会研修会	3
	第14回 超音波部会研修会の開催について	4
	第6回 サッカーフェスティバル in 静岡	6
巻 頭 言	新しい時代 副会長 三井田 基善	7
	第13回 超音波部会研修会	9
	平成10年度 第1回放射線セミナー 公開講演	11
	学術論文	14
	技師会事業に対するアンケート調査	18
	第15回 親善ソフトボール大会 中部地区チーム 大会二連覇	22
	2nd全静オープンテニス大会開催	23
病院紹介	順天堂大学医学部附属 順天堂伊豆長岡病院	24
	3市病院 放射線技師 人事交流	29
	頭の体操	41



社団  
法人

静岡県放射線技師会

# 会 告

## 創立50周年 記念式典 記念講演会 記念祝賀会の開催について

すでにご承知のとおり、本年度のメイン事業である50周年記念式典、記念講演会および記念祝賀会を10月17日（土）、ホテルアソシア静岡ターミナルにおいて開催致します。

50年という歴史の積み重ねを振り返り、21世紀を迎えるにあたり新たなスタートを切る大きな節目を全会員でお祝いしましょう。

なお、記念講演は一般公開となっておりますので、ご家族、ご友人等お誘い合わせの上、ご出席ください。

### 記

【日 時】 平成10年10月17日（土）13：00～19：00

【会 場】 ホテルアソシア静岡ターミナル 3F 駿府の間  
〒420-0851 静岡市黒金町56番地〔静岡駅北口〕  
☎ (054) 254-4141（代）

### 【内 容】

13：10～14：20 記念講演 1

「しずおかの方言と生活」 日本民俗学会会員

静岡市文化財保護審議委員 富山 昭 先生

14：25～15：45 記念講演 2

「夢と感動」 ジュビロ磐田

強化育成部長 前監督代行 桑原 隆 先生

後援 静岡県(社)静岡県医師会

16：00～17：00 記念式典

17：30～19：30 記念祝賀会

（ 祝賀会会費 正会員 7,000円  
賛助会員 12,000円 ）

### 『50年史』 発刊

出欠ハガキに必要事項記入の上、平成10年10月7日必着にてご返送ください。

# 会 告

## 学 術 論 文 募 集

(社)静岡県放射線技師会編集委員会では、本会創立50周年を迎えるにあたり、新たな企画として学术论文を募集掲載致します。

これは、現役会員の学士号取得という明瞭な目標ができ、会員の研鑽意欲、生涯学習への意欲が益々高まってきている現在、しずおかジャーナルの紙面を論文発表の場に活用していただくことを目的としています。

学术论文、誌上講座、各種リポート等はじめ、学会、学術大会等で発表したものでも構いませんので(静岡県放射線技師学術大会は除く)、積極的な投稿を期待し、ご案内申し上げます。

### 投稿規定

#### 1. 資格

(社)静岡県放射線技師会会員

#### 2. 投稿要領

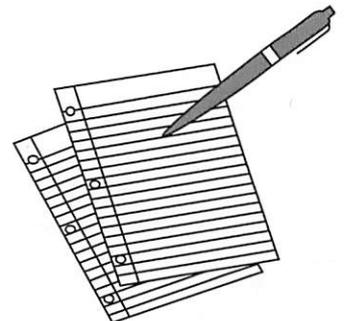
- ① 投稿内容は学術研究論文・誌上講座・論説・資料・その他とします。
- ② 原稿は原則としてワードプロセッサによりB5用紙に横書き22字×2段組×37行とします。  
(表題、著者名等に6行程度使用 しずおかジャーナルを参考にしてください)  
できましたらフロッピーディスクを添付してください。  
3.5inchFD・DOSフォーマット形式・一太郎、Word(または.TXT)
- ③ 表題・施設名・所属・著者名を記載してください。
- ④ 原稿の長さは写真・図・表を含め4枚以内としてください。
- ⑤ 写真(図・表)は文字原稿と別にし、記号等で配置が分かるようにしてください。
- ⑥ 静岡県放射線技師学術大会で発表されたものは掲載できません。
- ⑦ 学会等で発表したものについては、必ずその旨を末尾に明記してください。
- ⑧ 原稿の採否につきましては編集委員会で可否を決め、受付順に掲載させていただきます。

#### 3. 送り先

〒420-0839

静岡市鷹匠2-3-2 サンシティ鷹匠601

(社)静岡県放射線技師会 編集委員会



# 会 告

## 第7回 MRI部会研修会開催について

第7回MRI部会研修会を下記内容にて開催致します。

今回は日常業務に役立つ2題の講演を企画し、多数の会員のご参加をお待ちしております。

また、MRI部会が編集した「MRIテクニカルテキスト」が完成し、研修会当日配付致しますのでご期待ください。

### 記

【日 時】 平成10年10月3日（土）14：00～17：00

【会 場】 静岡県もくせい会館 2F 第1会議室  
〒420-0839 静岡市鷹匠3-6-1 ☎ (054) 245-1595

【主 催】 (社)静岡県放射線技師会 MRI部会  
日本シーリング株式会社  
シーメンス旭メディテック株式会社

【参加費】 500円

【内 容】

座長 総合病院聖隷浜松病院 石津 文夫

14：00～15：00 メーカー講演

「MRIの将来展望」

シーメンス旭メディテック株式会社 MR営業技術 水内 宣夫 先生

15：00～15：30 一 休 憩 頭部ルーチン写真展示 一

15：30～17：00 特 別 講 演

「頭部神経系のMRIはどこまでわかるか」

総合病院聖隷浜松病院 放射線科 伊藤 龍彦 先生

**MRIテクニカルテキスト（MRI部会編集）配付**

生涯教育のカウントは1点です。

# 会 告

## 第14回超音波部会研修会の開催について

第14回超音波部会研修会を、もくせい会館において下記により開催致します。  
今回のテーマは「脳血管の超音波診断」としました。ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

なお、会場整理費は1,000円（テキスト代を含む）とさせていただきます。

### 記

【日 時】 平成10年11月7日（土）14：00～18：00

【会 場】 静岡県もくせい会館 2F 第1会議室  
〒420-0839 静岡市鷹匠3-6-1 ☎ (054) 245-1595

【テーマ】 脳血管の超音波診断

【主 催】 (社)静岡県放射線技師会 超音波部会

【協 賛】 東芝メディカル株式会社  
株式会社マンソン

【参加費】 1,000円（テキスト代含む）

### 【内 容】

- 14：10～14：30 ①「新製品 Power Vision 6000 の紹介」  
座長 総合病院静岡厚生病院 山本 満  
東芝メディカル株式会社 五十嵐 勉
- 14：30～14：50 ②「Aモードのドプラ装置について」  
株式会社マンソン 荒井 務
- 14：50～15：10 ③「当院における脳スペクトとアンギオ」  
社会保険浜松病院 児玉 博英
- 15：10～15：25 - 休 憩 機器展示をご覧ください -
- 15：25～15：45 ④「中枢神経領域におけるMR診断」  
座長 富士市立中央病院 遠藤 佳秀  
富士脳障害研究所附属病院 牛場 克明
- 15：45～16：05 ⑤「頸動脈の超音波診断」  
静岡県立総合病院 望月 守
- 16：05～16：25 ⑥「四肢血管病変の超音波診断」  
藤枝市立総合病院 北川 敬康
- 16：25～17：00 トピックス「中枢神経領域における超音波」  
座長 静岡県立総合病院 西尾 孝次  
藤枝市立総合病院 杉山 高
- 17：00～17：50 実技指導〈頸動脈、脳動脈を中心に行います〉

(敬称略)

生涯カウント数は1点です。

# 会 告

## 平成10年度災害緊急時対策研修会

平成3年度より県地域防災計画への協力団体として、災害緊急時対策研修会を本会のメイン事業として行ってまいりましたが、本年は平成10年11月14日（土）もくせい会館において、原子力対策編と地震対策編を同時に開催することとなりました。

今回は機器固定に関するアンケート調査結果報告、地震防災対策強化地域判定会会長 溝上恵先生による講演等、貴重で大変参考になる企画となっておりますので、各施設1名はご参加くださいますようお願い申し上げます。

【日 時】 平成10年11月14日（土）13：00～17：00

【会 場】 静岡県もくせい会館 2F 第1会議室  
〒420-0839 静岡市鷹匠3-6-1 ☎ (054) 245-1595

【主 催】 （社）静岡県放射線技師会

【協 賛】 （社）日本原子力産業会議中部原子力懇談会静岡支部

### 【内 容】

13：30～14：00 「放射線機器固定実態調査結果報告」

（社）静岡県放射線技師会 副会長 三井田基善

14：00～15：30 「東海地震発生のメカニズムと予知手法

－ 最新の知見と今後の課題 －

地震防災対策強化地域判定会 会長 溝上 恵 先生

15：30～17：00 「日本のエネルギー事情と原子力発電所から出る

使用済み燃料の対策について」

日本原燃株式会社 六ヶ所本部 再処理事業所

電気計装部長 金井 英次 先生

生涯カウント数は1点です。

# 会 告



## 第6回 サッカーフェスティバル in 静岡



恒例となりました第6回サッカーフェスティバル in 静岡を10月25日（日）、第一製薬静岡工場グラウンドにて開催致します。

会員相互の交流の場として多数のご参加をお待ちしております。

### 記

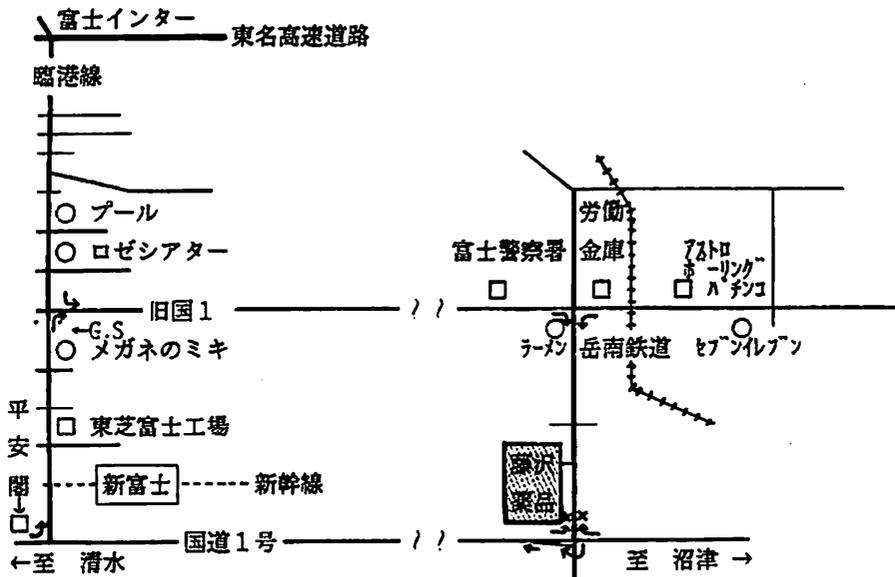
【日 時】 平成10年10月25日（日） 集 合：午前9時30分

キックオフ：午前10時

※雨天の場合は11月1日（日）に順延

【会 場】 藤沢薬品工業株式会社 富士工場

富士市中河原88 ☎ (0545) 52-3680



【申込方法】 別紙案内をご参照ください。

# 新しい時代

(社)静岡県放射線技師会 副会長 三井田 基善



今年は夏休み早々に広島に旅行に行き、広島平和記念資料館や無縁仏の納骨塚の前では、戦争は何も得るものがない悲しい出来事であるという事を思い知らされ、何とも云えない気持ちになりました。

さて、先般の参議院選挙では、自民党が大敗し橋本総理が辞任するなど大きな政治の流れが見られました。これは国民の激しい怒りの表れですが、このことで停滞している経済界がどれだけ動き始めるか、私自身大変関心を持っております。丁度この参院選の真ただ中、テレビでの報道特集として、参院選と医療改革が取り上げられており、病院評価機構と医療保険制度の抜本的改革に関連して、カルテの開示、またこの評価機構についてアメリカ社会ではすでに行われている実例を紹介するなど我が国の医療制度の今後を見るような大変厳しい内容が放送されておりました。

くしくも7月18日における第1回放射線セミナーでは、「医療ビッグバン診療報酬制度と医療供給制度が21世紀の医療を変える」と題しての公開講演が行われました。その中でも問題となる現在の出来高払い制という診療報酬制度など、患者さんにとって不合理な部分の改革を行う可能性を示唆され、今後の病院経営の難しさが浮き彫りにされていました。またこの日静岡市の青葉公園では、国立病院民営化反対の署名運動が行われておりましたが、この日本経済が崩壊している現在、いよいよ議論される日が来たのかと同じ医療人として一抹の寂しさを覚えたものでした。

ところで、(社)静岡県放射線技師会も創立50周年となりました。数ある県の事業もすばらしいものがあり、あらためて先人の方々の偉大さを感じております。しかし、ここで私達も振り返って、もう一度見直さなければならぬことも事実です。10年目を迎えた緊急時対策における放射線部門の機器固定に關

して現実はなかなか進めることが出来ません。この事をふまえ、行政なども巻き込んで今一度対策を考えなければならないと思います。また各地で頑張ってやっていただいている、身体障害者に対する胃の無料検診についても今一步踏み込んだ企画が必要と思われます。私の所属する東部地区会においても、この身体障害者に対する検診について話し合いがもたれました。これは地区会長さんの企画力、事務局の積極性、どれをとっても素晴らしい検診の計画でした。要点としては、まず一部の身体障害者だけの検診では意味がないこと、また受診される方が経年的検査が受けられることを一番の目標として立案されたものでした。しかも臨床検査技師会とも手を組んで、より有効な検診が受けられるよう計画されており、本当に完璧なシナリオができあがっていましたが、やはりここにも身体障害者に対し線引きがされていました。なぜなら、ある一線で身体障害者を選択しないと検診ができないことも事実なのです。この事は私も今回立案した人達も感じていることですし、また口に出しては云えない部分であることも感じました。以前、私もこの検診事業を行って一番感じていたのがこの線引きの事実です。この部分をもっと明確にし、また解決することができたら真の意味での(社)静岡県放射線技師会の身体障害者に対するボランティア活動になるのではないかと思います。県技師会も創立50周年事業に向かって一丸となって頑張っております。これから会員の皆様方のひとつひとつのアイディアが大きな力となります。(社)静岡県放射線技師会が、更なる一歩を踏み出すためにも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

# 平成10年度 第1回放射線セミナー

平成10年7月18日(土)  
静岡県もくせい会館

平成10年度第1回放射線セミナーが、日本シエーリング株式会社との共催により、静岡県もくせい会館において68名が参加し開催された。

セミナーは、三井田副会長の司会のもと吉村会長の挨拶にて開始された。

最初のメーカー講演は、日本シエーリング株式会社が担当し、日頃私たちが馴染みの深い「造影剤使用上の注意」という内容で行った。造影剤の安全性が高まるにつれ、つい忘れがちであったり、いい加減に考えてしまうことが多くなりがちな注意点を改めて喚起していただいたような気がした。

次の学術講演では、今回デジタル画像の現状と今後どのように変化していくのかということについて、日本コダック株式会社、フィリップスメディカルシステムズ株式会社に講演をお願いした。会員のみならずご存じのとおり、私たちが日常撮影している画像という情報が最近デジタル化が進み、その存在場所をフィルムからモニター上に移行しつつある。さらに、その情報は遠隔地(情報発生源とはかなり離れた場所)でほとんどリアルタイムに観察できてしまうことが可能となりつつある。このような時代がすぐそこに存在し、ほとんど現実になろうとしている。このような時代を生きて抜いて行くためには今回のような知識も必要ではないかと考え企画させていただいた。内容としては感材メーカー、機器メーカーというある意味では異なる立場で画像と取り組んでいるメーカーを選び、画像情報の発生をはじめネット



ワーク、画像保存、画像情報の利用等、私たちが今後現場で考慮しなければいけない問題について広い範囲で行っていただいた。最近統一規格として話題になり、会員の中にはかなり勉強されている方も多いとは思われるが“DICOM”とはどのようなものなのか簡単に説明していただいた。多少欲張りな感じで難解な部分もあったかと思うが、行政的な動向も含め今後どのような変化を遂げていくのか、またどのような対応を私たちは考えなければいけないのかという参考資料になれば幸いである。

最後の公開講演は、「医療ビックバン 診療報酬制度と医療供給制度が21世紀の医療を変える」という非常に難しい響きの題名であったが、今後の医療について非常に重要な内容で、私たちの日常業務というよりは職場そのもの、もしくは業務自体が大きく改革されようとしているのではないかと感じた。従来のように一つの施設である程度までの医療を行ってしまうのではなく、医療施設そのものを機能別に運用して、複数の施設による地域連携型医療に変更しようと考えている。日常業務とは少し懸け離れていると思いがちだが、私たちの業務内容がかなり変化すると予想される部分もあり、今後も新しい動きとかがあったらできる限り公開していただきたい。かなり難しい内容であったが、講師の野口先生の巧みな講演に真剣に聞き入ってしまい、とても2時間もの時間が経過したとは思えなかった。

(常任理事 前田 光一郎)

## 超音波部会報告「あなたに超音波を」

超音波部会長 藤枝市立総合病院 杉山 高

「消化管における超音波診断」と題し、多くの会員と、メーカーの皆様のご協力を頂き、盛況裡に終えることができました。厚くお礼申し上げます。

やむなく、参加できなかった会員のために、概要をお知らせ致します。

アグファ・ゲバルトKKの富井氏は、環境に優しい新しい画像処理「ドライイメージャー」について説明された。従来の液処理とは異なり、熱処理により画像を作るもので、カラー処理も可能との由、今後の普及が期待される装置の一つと感じた。

アロカKKの若松氏は、パワーフローの原理とカラードブラの違いについて説明された。また、パワーフロー（パワードブラともいう）の正しい使い方と適応、及び問題点についても解説された。その後、消化管について県内で最も活躍されている会員の講演を20分づつ頂いた。

「胃のエックス線診断」では、石井氏が潰瘍、がんの基礎的事項の解説に始まり、画像の読み方と症例など、豊富なデータを基に説明された。石井氏は、画像の描出の仕方など専門家としての「こだわり」にも触れられ、久しぶりに拝見する綺麗な胃エックス線画像に懐かしさを覚えた。

「注腸検査のDRによる最近の工夫とEUS」では川嶋氏が、バリウムを使用し排便時に肛門の様子を造影し観察するといった新しい方法での成果と、この方法における苦労話などについて述べられた。また、超音波内視鏡画像を多く拝見することができ、深達度などその有用性を知ることができた。

「胃疾患の超音波診断」では秋山氏から、多くの胃疾患の超音波像と、これに裏付けされた他の



画像との対比を中心に説明された。同時に検査時における注意点も併せて解説された。

「回盲部疾患の超音波診断」では遠藤氏から、虫垂炎を中心に憩室炎の症例なども含めて説明された。氏は虫垂炎にカラードブラの併用も炎症の程度診断においては必要と解説された。日頃、多い疾患部位の一つであり、その走査方法など苦慮する点についても伺い知ることができた。

「腸疾患の超音波診断」では北川氏から、小腸や大腸疾患の代表症例を中心に説明された。また、興味ある症例についても、裏付けられた画像と対比させ解説された。われわれがこの検査を始めたころは、超音波による消化管検査といえば常識を疑われた程である。しかし、今回の講演を聞いて消化管領域においても超音波は必須な検査と位置付けられ、科学技術の進歩を垣間見た感がある。

さて、話し代わって最近、「被曝線量低減」という言葉をあまり聞かなくなった。その代わりに「脱放射線」という言葉をよく耳にする。放射線に頼らず同じ生体情報が得られればそれにこしたことはない。「そんな検査があれば私も受けたい」という言葉が聞こえてきそう。実は超音波がこれにあたる。危険も無く、痛みも無く、多臓器の病変が簡単に分かることから、現在最も多用すべき検査である。今後、「脱放射線」といった考え方は世界的に進むであろう。21世紀に向けての手応えある画像診断が超音波なのである。次回は11月7日（土曜日）。「脳神経領域」をテーマにお送りします。もくせい会館で！

# 平成10年度 東海北陸地域放射線技師学術大会

平成10年7月4日(土)～5日(日)  
日本放射線技師会教育センター  
静岡県立総合病院 放射線科 名越 元威

平成10年度は、(社)三重県放射線技師会の世話人で、7月4日(土)～5日(日)に東海北陸地域放射線技師学術大会が、鈴鹿市にある日本放射線技師会教育センター(メモリアルホール)において開催され、東海北陸の会員376名が参加し学術大会が盛大に行われた。

7グループ(血管・造影撮影、超音波・破砕、核医学、一般撮影、MRI、CT、画質評価・管理)に分かれて36の演題と、特別講演(21世紀への対応)、シンポジウム(腹部領域における画像検査の有用性について)の研究発表があった。

一般・造影撮影では、画質を劣化させないで被曝低減をこんな方法で工夫しているとか、下部食道造影撮影では、15msec以下の撮影時間でボケが少ない。超音波では、カラードップラーの開発により動態が分かるようになり質的診断ができるようになってきている。核医学では集積場所の位置関係がハッキリここと断定できない部位を、CT画像などその画像に合成することで部位の診断ができ有用である。また、画質評価では、被曝低減するためのX線線量の最適化、ポータブル歯科用撮影装置の漏洩線量測定でX線管球のどこの位置が、漏洩線量の少なく被曝を抑えられるなど、MRIでは胸腹部領域での1回の息止めが、27secから16secに工夫できた。CTでは、血管の重なったところを3次元表示で多方向面の有用性、その他では、シャーカステンの管理、自動現像機の管理、ネットワークシステム、特に興味を引かれたのはフィルムマガジンの管理をマガジン全体の重量よりフィルム枚数を算定して良好な結果で

あった。

また、シンポジウムでは、「腹部領域における画像検査の有用性について」を一般撮影、超音波、CT、MRI、RI、血管撮影の多方面から見た画像検査の長所欠点をいかに組み合わせればよいのか活発な討論を交わされた。



特別講演では、中村会長が、「21世紀への対応」を講演され、これからの放射線技師は、医療の高度化に伴い多くの知識を持つ必要があり、教育の高度化に向けた制度改革、つまり専門校ではなく4年制大学に格上げし、また身分の向上のために一般市民の意識向上をはかるように、会員一人一人の意識の改革に切磋琢磨しなければならない。そうすることによって会員のレベルが上がり、身分法の制度改革につながる。

この技術大会は実践に則した演題が多く、患者さんに如何に負担を少なく検査、治療ができるようによりよい画像の提供するために創意工夫を行っている施設が多くあった。

最後に、次回の当番県は富山県で、室谷放射線技師会長が挨拶されて学術大会を終了した。

平成10年度第1回放射線セミナー公開講演

# 診療報酬体系の改革と医療提供体制の改革が 21世紀の医療を変える

社団法人 日本画像医療システム工業会  
企画調査部会 健在評価委員会 委員長 野口 雄司

医療を取り巻く環境の変化は、法律・制度等様々な改正をもとに大きく変わろうとしています。「医療」も「ビッグバン」の時代をまさに迎えているともいえるでしょう。

現在、討議・検討されているもの、あるいは対応を迫られている内容をざっとあげてみても、以下の内容を列記する事ができるでしょう。

- ・薬事法改正
- ・医療法改正
- ・健康保険法改正
- ・医療保険制度改革
- ・薬価制度の改革
- ・診療報酬体系の再構築
- ・介護保険制度
- ・PL法への対応
- ・廃掃法への対応
- ・流通近代化への対応
- ・情報化推進への対応
- ・公正取引に対する対応
- ・日米欧のハーモナイゼーション
- ・規制緩和への対応・・・等

しかもこれらが複雑に絡み合い「医療」の新しい姿を模索しているといえるのです。従って全体の動向を、一つの「法」の内容や「制度」の内容だけで把握することは困難ともいえるでしょう。

さて、私どもの「画像診断領域」に関しては、今ど様な変化や影響が生じようとしているのか、現状での変化に関してまとめてみたいと思います。そこで、今回（平成10年度）の保険点数改正に関する問題点／課題の指摘と、「医療法」改正に伴う医療提供体制から考えて見ましょう。

## 「画像診断領域」に関する課題

「医療費の無駄の排除」この表現は医療費抑制の環境下、様々な場において聞く言葉ですが、医療機器については、最近「無秩序な高額医療機器

の導入の是正」の為に、（地域の人口に応じて）  
・（計画的配置）・（共同利用）という言葉がキーワードになってきているようです。確かに「無秩序」とは何をさして言うのか？ここで言う「高額医療機器」とは何を対象としているのか？議論のあるところではありますが、極めて私どものエックス線診断機器に関しては刺激的な表現といえるでしょう。

平成10年度の保険点数改正を見ましてもそのような背景のもと、影響を受けていることが理解できます。

さて「画像診断領域」に限定して、今回の改正に関しての3つの問題点／課題を考えたいと思います。

1 「フィルムへのプリントアウトを行わずに画像を電子媒体に保存した場合にも算定できる」という通知がエックス線診断料並びにコンピューター断層撮影診断料に適用されました。単純に読めば、結果「モニター診断」が認められ、新たな画像診断の選択技がやっと認められたとなるでしょう。しかしながら現実論として現場でどの様な状況になっているのでしょうか？

- ① 通知文書において「モニター診断をしてもよい」との表現はどこにもありません。フィルム以外の「何」で診断するのか、運用面で不明瞭さが残ります。
- ② フィルムは薬事法において医療用具になっており、薬事法上の担保がされていますが、画像診断で用いられる仮に「モニター」の場合はその品質等においてどの様な担保がされ

ているのでしょうか？医療用具では「修理」が必要になった場合、その実施者において必要な要件が明記されております。さらに「保守点検」においても外部委託の要件が医療法上定められております。確かに世界的には「規制緩和」と「自己責任」の中で処理されるべきことかもしれませんが、あまりに現行法との整合性がなく、診断に用いられる段階において混乱が予想され、「診断の担保」と「算定上の整合」に疑問が残ることになります。また、診断に供される機器のガイドラインもない状況です。

- ③ 「電子媒体に保存する行為」の評価や「モニター診断という新たな行為」の評価は、従来の診断技術評価と同等なのかどうかについても、明確な「解説（注記）」すらない現状であります。

このような状況は、以前「電子媒体保存」においてもあったこと記憶に新しいと思います。また「医療訴訟」になった場合「診断の担保」と「証拠保全」能力においてもふれられていない事も不安ではないでしょうか？

## 2 「保守・維持・管理・廃棄等のコスト評価」 について

エックス線診断料における単純撮影において「頭部・胸部・腹部・または脊椎」は81点から85点へ、「その他の部位」については41点から43点へと点数が引き上げられました。この引き上げの背景には、維持・管理・廃棄等にかかわるコストを評価したものであるとの説明があったようですが、通知文書中には具体的表記がないため、医療機関側での認識がまちまちとなっているようであります。

従来、様々な付帯的費用は明確な記載のないまま「診断料」や「撮影料」に広く・浅く配分されてきました。しかしながら、これらの方法は医療機関の機能や特性によって評価の限界に

きているとの指摘も無視できません。

明確な評価をするのであれば、昨年公表された「21世紀の国民医療」（与党案）に示されているような「ホスピタルフィー」という評価項目の導入の議論が遅れているように感じられます。

## 3 コンピューター断層撮影診断料について

① 今回、積算の前提が公表されました。「機器の本体価格」「人件費」「保守契約費等」と月20日の稼働日数中、実施回数をCT：24回／日、MRI：12回／日とされましたが、点数積算の根拠となった計算式の開示は現在に至るまでされておられません。少なくともこの前提は「薬価」や「特定保険医療材料」の価格を決める方法に酷似しており、単に点数（価格）を下げる目的のみで行われたのではと考えてしまいます。

② 撮影性能や撮影方法への配慮なしでの点数決定は、検査の質への影響も大きいと思います。

③ また、今回の「積算の前提」が一律評価として、それらの新しい撮像法の評価で用いられることになれば、新技術評価の対応にかなりの論理的無理が生じるとも考えられます。

以上、3点に関しては業界意見としてとりまとめ、行政側へは問題提起しております。今後、診療側とも十分な議論が必要となる課題でしょう。単に医療費抑制だけを目的とせず様々な医療資源の配分を考慮に入れ、適正な評価制度の確立が望まれることとなるでしょう。その結果としてDRG／PPSのような包括的評価も選択の一つとなるのかもしれませんが。

また、「在宅医療におけるエックス線撮影装置の安全な使用について」という指針が6月に公表されました。まだまだ検討せねばならない項目があるにせよ、いよいよ高齢社会に伴う良質な在宅医療の提供において新たな展開を予測できる指針

の公表と考えることができるでしょう。

さて、「医療」の提供という面から見た場合、昨年12月における「医療法」の改正があげられるでしょう。従来の様な「一施設完結型医療」から「地域連携型医療」への脱却、そして先に述べた高齢社会における受け皿の整備。共に効率化された医療の提供とネットワーク型医療への脱皮は、日本の社会のおおきな価値体系の変化でもあると考えられます。

「医療法」は昭和23年に制定され、医療水準の確保のため「人員配置基準」「構造設備」「管理体制」等が網羅されていますが、今回の改正を含め大きく3回の改正がされました。この度の改正により昭和60年の改正（第一次）で策定された「地域医療計画」や「二次医療圏と必要病床数」に関する全面的見直し。平成4年改正（第二次）で登場した「特定機能病院」と「療養型病床群」のさらなる充実がはかられ、そして新たに「総合病院」

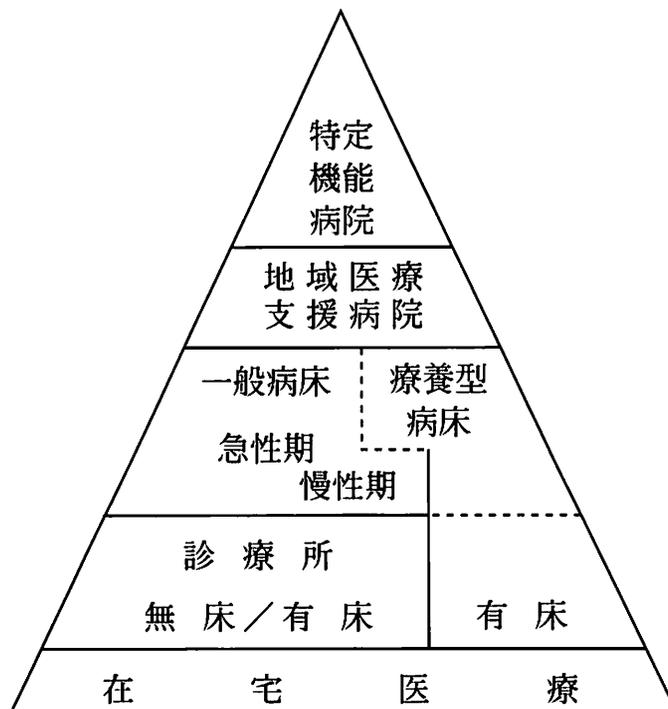
に変わり「地域医療支援病院」の創設や「有床診療所の療養型病床群への転換促進」「医療法人の業務拡大」等が登場して参りました。

具体的な実施細目は本年5月6月7月の通知により、いよいよ具体的な実施展開へと移ります。簡単な関係図は下の図のようになるでしょう。

少なくとも、今後は一つの県でも「二次医療圏」ごとの医療提供への対応に重点を置いた諸施策が行われる事になるでしょう。そのとき相互の医療機関の連携は不可欠であり、さらに機器も効率よい適正配置の元、「共同利用」や新たな体系の「相互乗り入れ」「相互利用」に発展することとなるでしょう。それらが有機的に結びつき「人」と「情報」の県全体へのネットワーク化へと発展するのかもしれない。

くれぐれも忘れてはいけないのは「ネットワーク」の主役は「人」であることです。

### 医療法改正による医療の体系化



# 門脈大循環短絡によるカラードプラ像の検討

藤枝市立総合病院 超音波科 杉山 高 秋山 敏一 北川 敬康  
溝口 賢哉 林 健太郎 中村 元哉

## 1. はじめに

門脈血行動態における診断には従来、血管造影あるいは経皮的門脈造影など、エックス線を用いた検査が主流をなしていた。近年、カラードプラ法の登場により門脈の血流方向、血流速度、異常血管の存在や走行など、血管内における流速状態を直視下で捉えることが可能となり、非侵襲的方法として医療現場で広く応用されるようになってきている。今回われわれは、日常行っている門脈疾患、特に肝硬変など門脈圧亢進症により、門脈-大循環短絡が疑われたものに対し、カラードプラ法を施行し、その有用性について検討した。

外に異常管腔構造物が認められた場合、4) 左胃静脈、5) 臍傍静脈、6) 脾門部の血管怒張についてカラードプラにより血流の観察を行う。そして、7) 番に示す脾静脈や門脈の血流方向、および流速に注目した。また、模式図の8番は門脈、脾静脈の閉塞をきたした場合に認められる所見で、これは求肝性に門脈が怒張する、いわゆる honey comb sign を示すが、今回の検討からは除外した。年齢は84歳から58歳(平均66.5歳)、男女比は1:1である。

使用機種は東芝 SSA-340A、SSA-260A、横河 LOGIQ500MD で、探触子は3.75MHzを使用した。

## 2. 対象および方法

1997年1月1日から1997年12月31日の1年間に、肝硬変245例の検査施行した。この内、門脈大循環短絡が認められた10例の血行動態とアンモニア値(NH<sub>3</sub>)および総ビリルビン値(T. bil.)について検討した。

図1は門脈大循環短絡の状態を示した模式図である。1) これに基づき肝内、肝外の異常血管における、カラードプラの走査ポイントを図2に示す。肝内に異常血管と思われる像が認められた場合、カラードプラにより血流の有無を観察する。血流信号が得られれば、血流方向、ドプラ波形などにより模式図に示す番号 1) P-V shunt (門脈・静脈短絡)、2) A-P shunt (門脈・動脈短絡)、3) 肝内門脈瘤について検索する。次に肝

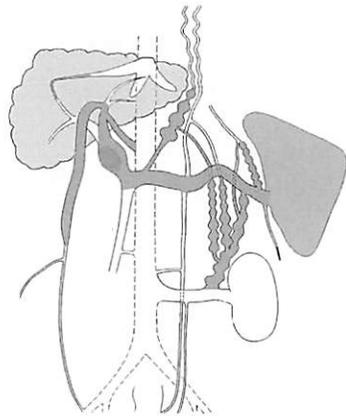


図1 門脈大循環短絡路

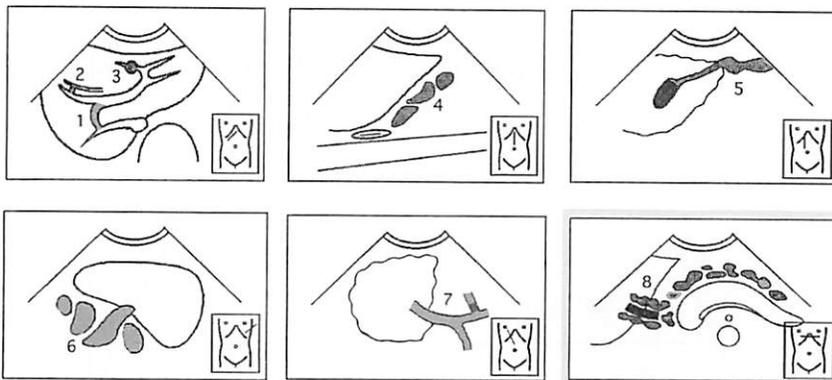


図2 肝内・肝外の異常血管におけるカラードプラ法のポイント(色表示部分の波形解析)

名前	性別	疾患	短絡・逆流	データ
K.H	F	LC	A-P	NH <sub>3</sub> :78 T.Bil:1.9
N.H	M	LC	P-V	NH <sub>3</sub> :56 T.Bil:2.4
O.S	M	LC	P-V	NH <sub>3</sub> :73 T.Bil:—
O.S	F	LC+HCC?	P-V	NH <sub>3</sub> :31 T.Bil:1.1
A.J	M	LC+HCC	P-V	NH <sub>3</sub> :152 T.Bil:1.3
K.N	M	LC	S-R (SV 逆流)	NH <sub>3</sub> :106 T.Bil:1.8
U.T	F	LC+HCC	S-R(SV, PV 逆流)	NH <sub>3</sub> :127 T.Bil:1.5
M.M	F	LC	S-R(SV 逆流)	NH <sub>3</sub> :96 T.Bil:1.8
I.T	M	LC	S-R(SV 逆流)	NH <sub>3</sub> :171 T.Bil:2.5
A.S	F	LC	shunt - (SV 逆流)	NH <sub>3</sub> :85 T.Bil:1.5

正常値 NH<sub>3</sub>:12~66 μg/dl, T.Bil:0.2~1.3 mg/dl

表1 門脈-大循環短絡の症例

### 3. 結果

表1は門脈-大循環短絡10例についてまとめたものである。肝硬変の所見は全例に認められた。この内、2例が原発性肝癌を合併し、肝癌の疑いが1例あった。短絡および逆流についてみると、A-Pshuntが1例、P-V shuntが4例あった。S-R shunt(脾-腎静脈短絡)は4例あった。脾静脈の血流に逆流が認められたものは1例あった。また、NH<sub>3</sub>やT.bil.では1例を除く、他の全てにおいて高値を認めた。なお、正常値を括弧内に示す。

### 4. 症例

症例を呈示する。

#### 4-1 門脈・肝静脈短絡

63歳、男性。肝硬変、肝癌、肝性脳症により超音波検査を施行した。

図3はBモードにおける白黒画像である。拡張した門脈と嚢胞領域が、横隔膜近傍に認められる(矢印)。図4はカラー画像とドブラ波形を示す。Bモードでは血管か、嚢胞か、あるいは限局性に拡張した胆管との鑑別は困難である。しかし、カラードブラでは、血流が存在すればシグナルとして描出される(矢印)。このことより血管であることが容易に理解できる。加えて、この部位のドブラ解析では定常波を示していることから、門脈血流であることが分かる(左スペクトル波形の矢印)。図5は脾静脈の血流方向をみたものである。

赤色で表示されていることから、求肝性の順流、すなわち正常血流であることが分かる(矢印)。図6はエンハンスされたCT像を示す。超音波で指摘された部位に一致して短絡と思われる部分が描出されている(矢印)。なお、本例のNH<sub>3</sub>は152と高値を示したが、T.bil.は1.3とほぼ正常範囲であった。

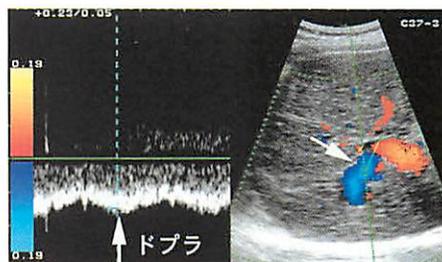


図4 US (カラードブラ像)



図5 US (脾静脈は順流)



図3 US (Bモード像)

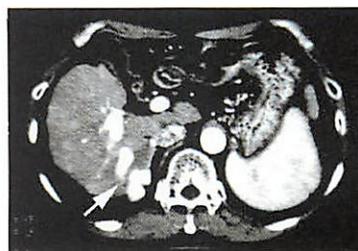


図6 CT像

#### 4-2 脾・腎静脈短絡

60歳、女性。肝癌の follow up により超音波検査を施行した。図7は左上腹部のBモード縦断像である。脾門部の血管怒張が認められる(矢印)。図8は同部位のカラードブラ像である。Bモードで指摘した部位に赤色、青色のカラーシグナルが認められることから血管であることが分かる(矢印)。ちなみに、赤色は探触子に近づく血流を、青色は遠ざかる血流として描出されることから、本例は怒張した血管の蛇行であることが容易にわかる。次に門脈右枝の血流方向を観察したのが図

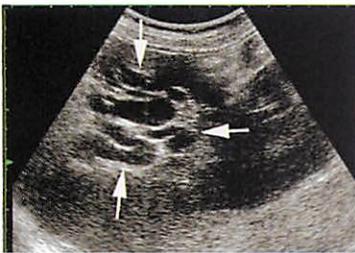


図7 脾門部血管怒張



図8 US (カラードブラ像)

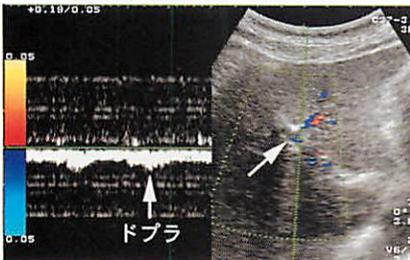


図9 門脈逆流



図10 脾静脈逆流

9である。本来、この血管は探触子に近づく血流であり、赤色で表示されるはずであるが、門脈圧亢進の進展により青色で表示されている(矢印)。また、同部位のドブラ波形からも、負側に表示されていることから、逆流信号であることが確認できる(左スペクトル波形の矢印)。図10は脾静脈の血流方向をみたものである。本来、赤色で表示されなければならないものが、青色で表示されていることから遠心性の血流、すなわち逆流を示していることが分かる(矢印)。図11にエンハンスされたCT像を示す。矢印は怒張した血管で、脾・腎静脈の短絡と診断された。



図11 CT像

#### 5. 考察

肝硬変などによる門脈圧亢進症は種々の合併症を伴う。図12は肝硬変の症状と合併症を示したもので、皮下出血、腸管出血など、ほぼ全身に何らかの影響が現れることが分かる。<sup>2)</sup>中でも、側副血行路や、肝実質および肝内異常血管の存在に注目することが必要である。門脈圧亢進症は、門脈血流路に狭窄や閉塞が起り、門脈圧が持続的に高くなった病態の総称をいい、肝硬変では200~280mmH<sub>2</sub>Oと、正常の80~180mmH<sub>2</sub>Oに比較し高い値を示すとされている。<sup>3)</sup>

門脈圧亢進による主な門脈-大循環短絡については図1に示したが、門脈圧亢進が進展すると門脈血流量は著しく低下を来とし、低下した分の血流は側副血行路を經由し右心房へ流入することになる。本来、肝臓は腸管などから吸収したアンモニアやアミノ酸、アミンといった窒素化合物を肝で解毒処理しているが、門脈・大循環短絡を生じると解毒処理能力は低下し、窒素化合物は脳神経系に蓄積し、肝性脳症といった精神神経症状をひき起こすことになる。カラードブラ検査は、こうした門脈圧亢進の進展状況と門脈血流方向を知るのに最も適した方法といえる。例えば肝硬変の門脈血流は、健常者と変わらないとされているが、西田らは、<sup>4)</sup>血流速度は明らかに低下すると述べている。そして、Lacyらは、<sup>5)</sup>血流速度の低下が進み、ある時ゼロとなり、その次が門脈逆流であると述べている。この興味深い現象の検討に

関しては現在のところ、超音波ドプラ法が最も信頼できる検査法と評価されている。これを模式図で表すと図13のようになる。すなわち、1番は門脈圧亢進により、左胃静脈の to and fro（血液が行ったり、来たりする流れのようす）を赤・青色で示したもので、さらにこれが進展すると、2番に示す脾静脈の遠肝性血流となり、やがて3番に示す門脈、脾静脈および左胃静脈の逆流、すなわち遠肝性血流へと移行していくことが推測される。

西田らは肝不全の経過をT. bil. と門脈本幹の血流方向との関連性について、門脈血流が順流であれば、T. bil. は低く、逆流に変化するとT. bil. も悪化すると興味ある報告をしている。自験例でも門脈逆流を示した例はT. bil. が高値であった。

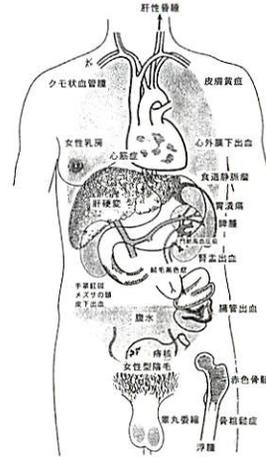


図12 肝硬変の症例と合併症

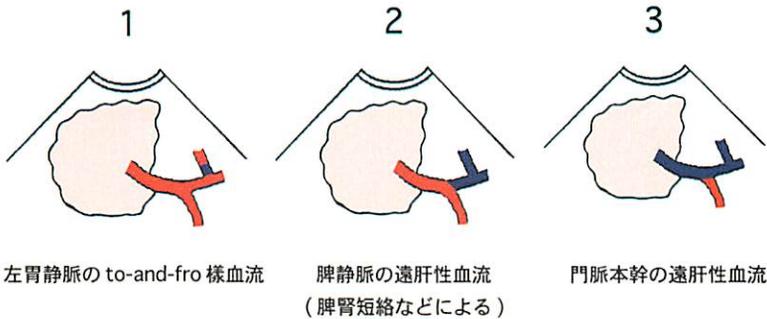


図13 門脈圧亢進症の進展と門脈血流方向

## 6. まとめ

1. 血行動態をリアルタイムで観察可能なカラードプラ法は、肝硬変の病態を知るうえで特に重要な存在であった。

2. 肝嚢胞と肝内短絡像は類似像を示すが、カラードプラ法を用いることで、両者の鑑別は容易であった。

3. 肝内短絡では P-V shunt が 4 例と最も多く、他の 1 例は A-P shunt であった。また、脾・腎静脈短絡を 4 例経験したが、4 例のいずれもが脾静脈の逆流を伴っており、この中の 1 例に門脈逆流が認められた。NH<sub>3</sub> や T. bil. の値は P-V shunt など肝内短絡の所見を示したものよりも、脾・腎静脈短絡の方が高い値を示した。今後、門脈・大循環短絡の症例に対しては、アンモニアなどの生化学データも参考にし、肝内門脈枝の血流速度など更に詳細な検討を重ね、超音波を用いた病態の評価についても、その可能性について考えていきたい。

なお、この論文は平成10年度東海北陸地域放射線技師学術大会シンポジウムで報告したものをま

とめたものである。本稿をまとめるにあたり藤枝市立総合病院診療部長 金丸 仁先生のご教示を頂くことが出来た。衷心より厚くお礼申し上げます。

## 7. 文献

- 1) 工藤正俊：門脈疾患のカラードプラ像，腹部カラードプラ診断テキスト，文光堂，東京，1992。
- 2) W. Sandritter C. Thomas，東京大学医学部病理学教室訳：図説 マクロ病理学，医学書院，東京，1972。
- 3) 相川直樹ほか：医学大辞典，南山堂：p-353, 1955。
- 4) 西田修，西川浩史ほか：門脈逆流の2症例 臨床経過と血行動態の変動，超音波医学Vol. 24. No. 10. 1997。
- 5) Lacy AM, Navasa M. et al: Long-term effects distal splenorenal shunt on hepatic hemodynamics and liver function in patients with cirrhosis :Importance of portal blood flow. Hepatology 1991;15:616-622。

# 技師会事業に対するアンケート調査

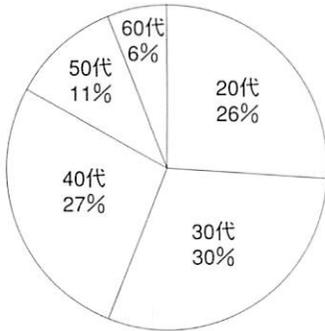
本会は平成3年社団法人の認可を受け、その事業も地域社会への保健医療活動の推進と技師自らの資質の向上を柱に各種事業を実施している。

最近の傾向として各事業に参加する会員数の減少が目につき、また参加者の顔ぶれも一緒であったりし、事業を企画するにあたって戸惑いが生じている。

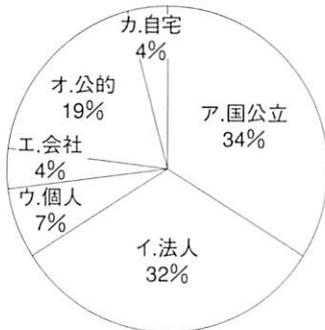
会事業（研修会、勉強会及び福利厚生事業）に対して会員がどのような意識をもっているのか調査し、今後の事業活動に活かしていきたいと考えアンケート調査を行ったので、その結果を報告する。

社団法人 静岡県放射線技師会 調査委員会

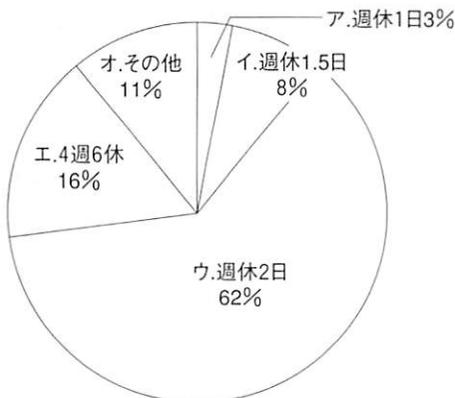
## 1. 年齢についてお答えください。



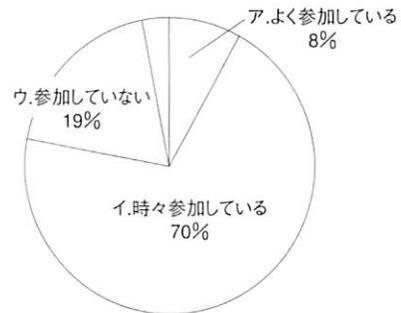
## 2. 勤務先についてお答えください。



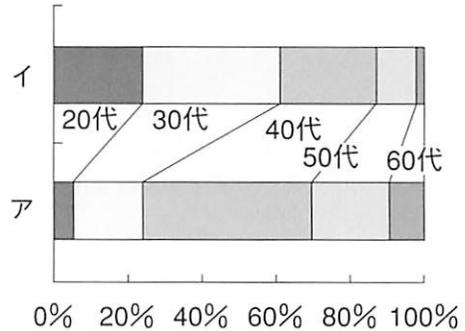
## 3. 休日についてお答えください。



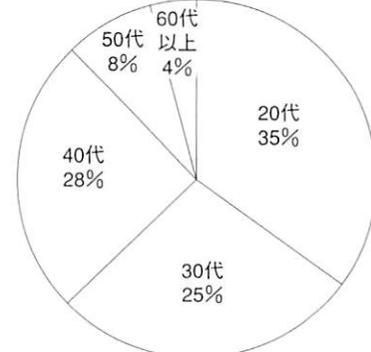
## 4. 今までに県技師会が行う勉強会・研修会によく参加されますか。



### 4-1. アとイの年代別内訳

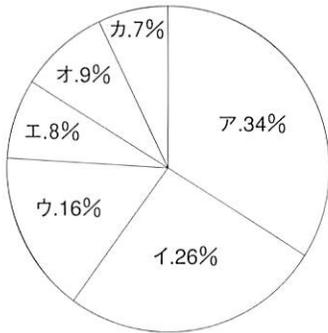


### 4-2. ウの年代別内訳

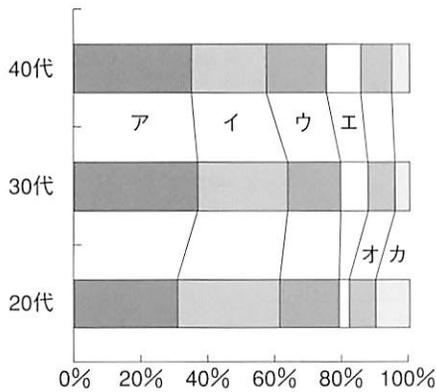


5. 勉強会・研修会に参加する動機についてお答えください。

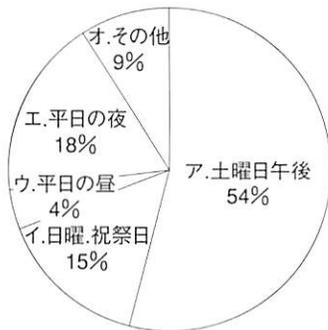
- ア. 内容に興味があったから
- イ. 現在の業務に関連があるから
- ウ. 技師としての教養および技術研鑽のため
- エ. 技師会のつきあいで
- オ. 会場が近いから
- カ. その他



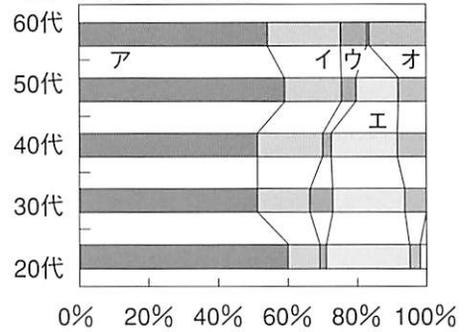
5-1. 20代、30代、40代の動機



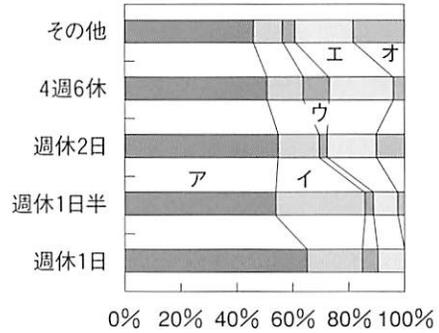
6. 勉強会・研修会の希望開催日時についてお答えください。



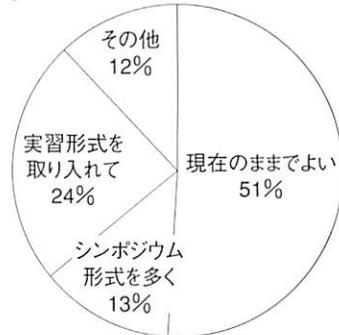
6-1. 年代別希望開催日



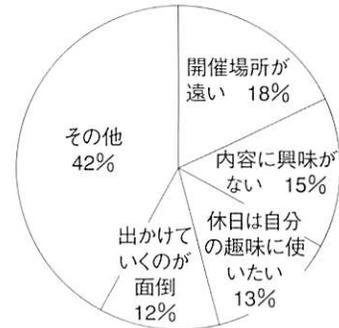
6-2. 休日別希望開催日



7. 勉強会・研修会の開催方法についてお答えください。

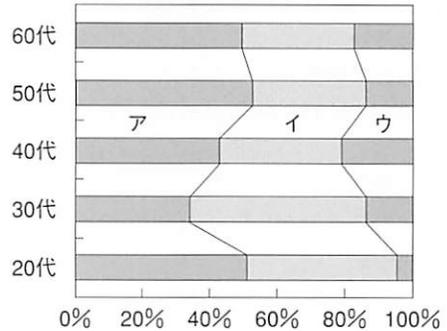


8. 勉強会・研修会に参加しない理由は何ですか。



開催場所が遠い 18%  
内容に興味がない 15%

休日は自分の趣味等に使用したい	13%
出かけて行くのが面倒	12%
1人で参加すると気後れする	4.5%
研修会等が多すぎる	4.4%
金銭的余裕がない	3.8%
強制されてまで行きたくない	3.7%
参加しても役立たない	3.3%
内容のレベルが高い	2.7%
技師会に興味がない	2.5%
参加すると何か頼まれそう	1.9%
内容のレベルが低い	1.3%
通知を見ない	1.0%



ア 参加したことがない	44%
イ 1～5回未満	43%
ウ 5回以上	13%

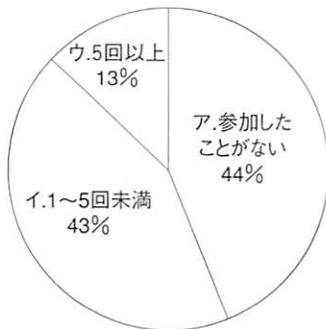
9. 研修会へ参加したときに与えられるポイント制についてご存じですか。

はい	90%
いいえ	10%

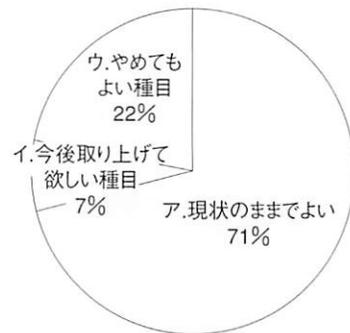
10. このポイント制についてどのように考えておられますか。

- ・ポイントを知りたい
- ・ポイント手帳を作って配付しては
- ・学位取得のための単位との互換性を
- ・意味がない、メリットがない
- ・主旨がわからない
- ・ポイントが活かされていない
- ・意識している人は少ないと思う
- ・ナンセンス
- ・地区開催の勉強会にもポイントがつくようにしてほしい

12. 今までに、福利厚生事業に(サッカー、ソフトボール、テニス、ゴルフ)参加したことはありますか。



12. 福利厚生事業の内容についてお答えください。



今後取り上げて欲しい種目

- ・施設見学
- ・囲碁、将棋
- ・英会話
- ・山歩き、日帰り旅行
- ・ボーリング県大会
- ・スキー、ソフトバレー
- ・サイクリング
- ・釣り大会

今後やめてよい種目

- ・ゴルフ
- ・テニス
- ・サッカー
- ・全て

福利厚生事業に対するご意見

福利厚生は無くてもよい  
参加人数の少ないものは止める方がよい  
会費の無駄使いである

13. 技師会へのご意見・ご希望をお聞かせください。

#### 20代

- ・小規模病院にも目を向けて欲しい
- ・若い世代が参加したくなるような雰囲気作りをして欲しい
- ・会費が高い
- ・放射線治療の講習会を開催して欲しい

#### 30代

- ・事業が多すぎる
- ・学術的なものを多くして欲しい
- ・会費が高い
- ・技師法の改正、学位取得の制度作りに積極的に活動して欲しい
- ・読影マニュアルの作成
- ・子供を連れて事業に参加できる工夫を

#### 40代

- ・事業が多すぎる
- ・土曜日の午後に開催されることが多いが勤務上参加できない
- ・会費をレクリエーションに使うことに違和感がある
- ・平日に勉強会を開催して

#### 50代

- ・各地区での勉強会を増やして欲しい
- ・発表後の抄録集は紙質の良いものを使用して欲しい
- ・X線写真の読影の講習会を行って欲しい  
(レポートの書き方等)
- ・装置の管理に関する講習会を
- ・平日に研修会を
- ・もっとリーダーシップを発揮すること

#### 60代

- ・役員の半分は20代～30代にしてみても
- ・勤務形態、休日、開催地をもう一度考えてはどうか

#### アンケートまとめ

回答数は411通で、回収率は47.2%であった。

回答者の年齢層は20代から40代までが83%を占め、若い世代の会員の声を多く聞くことができた。

週休2日制は62%まで普及している。

研修会、勉強会に参加する、よく参加するを合わせると78%で、年齢別では30代、40代で半数以上である。

また、参加する動機については若い世代ほど現在の業務に関連があるから、内容に興味があるからという理由が多く半数以上を占めていた。

参加しない理由では場所が遠い18%、内容に興味がない15%、週休2日制を反映してか休日は自分のために使いたい13%を占めた。

開催日については土曜日午後が54%で最も多く、20代から40代では平日の夜が次に多かった。

また、開催方法では現在のままでよいが51%、実習形式を取り入れて欲しいが24%であった。

ポイント制については9割が知っていると回答し、知らないは20代と60代以上に多かった。

福利厚生事業については56%が参加したことがあり、その年齢層は20代から40代までで80%を占めた。また、事業内容は現状でよいが71%であった。

—————・—————・—————・—————・—————

貴重なご回答とともにたくさんのご意見をお寄せくださって有り難うございました。

集約結果を踏まえ、今までの固定観念にとらわれず役員会、委員会等で検討させていただきます。また、技師会への貴重な要望事項についても今後の事業計画の中で参考にしていきたいと考えております。

社団法人 静岡県放射線技師会

# 第15回親善ソフトボール大会

## 中部地区チーム お見事大会二連覇!

平成10年7月26日(日) 於 裾野市陸上競技場多目的広場

恒例となりました県親善ソフトボール大会が予備日の7月26日、裾野市の陸上競技場多目的広場にて、70名の老若男女の参加者を得て開催されました。前夜の大雨に、ハラハラドキドキでしたが、当日は日差しが強かつたものの、高原の涼しさを感じられる好条件の中、県下の放射線技師チーム(3チーム)と関係メーカーチームとの間で、各チーム2試合のトーナメント形式で、熱戦・接戦?の4試合が行われました。

午前9時50分、開会式と吉村会長の挨拶・始球式に続きゲーム開始となった。

### 一回戦

	1	2	3	4	5	計
中部	11	18	0	時間切れ		29
東部	6	6	3	時間切れ		15

### 三位決定戦

	1	2	3	4	5	計
西部	7	0	4	4	0	15
東部	0	3	0	4	6	13

### 一回戦

	1	2	3	4	5	計
西部	1	0	10	0	0	11
メーカー	0	3	2	5	2x	12

### 決勝戦

	1	2	3	4	5	計
中部	6	1	1	1	2	11
メーカー	0	1	0	0	0	1

各試合とも、ハッスルプレイ・好プレイ・珍プレイの連発や、俊足?を生かしたランニングホームランや見事なオーバーフェンスホームランが飛び出すなど、すばらしい内容の4試合でありましたが、飯塚知幸地区会長率いる中部地区チームが熱戦を制し見事優勝し大会二連覇を成し遂げました。

### 個人賞

#### 最優秀選手

中部地区 吉田忠尚 (総合病院清水厚生病院)

#### 優秀選手

東部地区 高城正行 (沼津市立病院)

中部地区 岡田和教 (共立蒲原総合病院)

西部地区 野沢滋幸 (聖隷三方原病院)

メーカー 高橋辰弥 (株式会社協和ME)



# 2nd全静オープンテニス大会開催

平成10年8月2日(日) 藤枝エミナーステニスコート

昨年よりスタートした全静オープンテニス大会が、平成10年8月2日(日)藤枝エミナースにおいて開催された。明け方の強い雨も上がり、2年連続出場の3ペアを含む9ペア、18名がカラフルなテニスウェアに身を包み、年1回の祭典に集った。



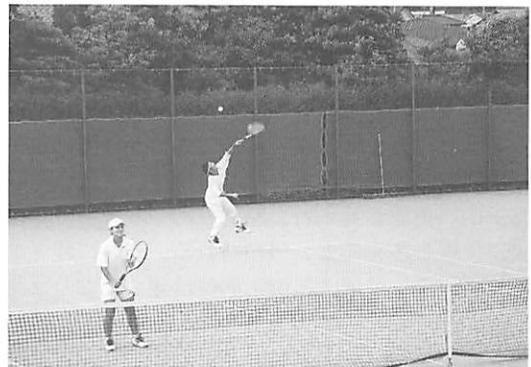
吉村会長、庄副会長の挨拶に続き、3チームずつの3ブロックに分かれ予選リーグ(6ゲーム先取)を、昼食を挟み午後からは順位別決勝リーグ(1セットマッチ)が行われた。

ようやく梅雨明け宣言され、待ってましたとばかりに真夏の太陽が照りつける中、息の合ったプレーを魅せるミックスペアや、何年ぶりにラケットを握る選手のブランクを感じさせるプレーなど思い思いにゲームを楽しんでいた。予選リーグでは一方的な試合もみられたが、順位別決勝リーグでは白熱した好ゲームが数多くみられた。また大会直前に指を骨折してしまい、泣く泣く出場を辞退した選手も応援に駆けつけ、来年こそはと闘志を燃やしていた。

結果は、2年連続で鈴木清孝・陽子夫妻ペア(市立島田市民病院)が優勝。準優勝は秋山清純(市立島田市民病院)・伊勢律子(静岡済生会総合病院:薬局)ペア。2位リーグ優勝は下平正直・玲子夫妻ペア(千代田メディカル)。3位リーグ優勝は和田一也(市立島田市民病院)・小椋陽子(コ

ミュニティホスピタル甲賀病院)ペアであった。

閉会式では吉村会長より、鈴木夫妻ペアに優勝トロフィーと賞品が、下平夫妻ペア、和田・小椋ペアにはそれぞれ賞品が手渡され、第2回大会は幕を閉じた。



この全静オープンテニス大会は会員の家族、仲間と共にレベルを問わず楽しくゲームができるよう企画されているので、テニスは好きだけど試合はちょっとという方も気楽に参加していただければ幸いです。第3回大会にはあなたも参加してみてはいかがでしょうか？！

最後になりましたが、オムニコートでしかもシャワー設備付きという素晴らしい会場を借りるにあたり、前回に続きご尽力くださった藤枝市立総合病院の本杉会員にお礼申し上げます。



## 病院紹介

順天堂大学医学部附属

# 順天堂伊豆長岡病院



(所在地) 〒410-2211

田方郡伊豆長岡町長岡1129

(TEL) 0559-48-3111

(FAX) 0559-48-5088



### 《はじめに》

伊豆長岡町といえば、温泉をイメージされると思います。最近では温泉ブームからか若い人達の姿も多く見られます。又、冬から春にかけては蓐狩りに訪れる人達で賑わっております。北には霊峰富士山の勇姿が見られ、鮎釣りのメッカ狩野川は東に位置し多くの太公望が訪れる、まさに観光地の真っ直中に位置する所に病院は建っております。

### 《沿革》

昭和42年4月

町立伊豆長岡病院を譲り受け順天堂大学医学部の附属病院として発足 94床

昭和43年6月

第1期棟として3階建ての温泉利用によるリハビリテーションの開設及び増床 136床

昭和47年5月

第2期棟として5階建ての病室及び診療部が一新される 234床

昭和51年3月

災害医学研究所が完成。教育機関としての設備となる

昭和52年12月

第3期棟完成。ICU、CCU病棟が併設される 216床

昭和56年9月

第4期棟として救命救急センター並びに新生児センター完成。第3次救急医療機関として稼働

昭和60年6月

第5期棟完成 355床

平成8年9月

新病棟増改築行われる 355床

平成10年6月

免震構造の地下1階地上9階建ての病棟及びレストラン棟が完成。(18診療科) 447床

### 《病院概要》

病床数	447床
診療科目	18診療科
職員数(派遣職員含む)	

医師	110名
看護部	417名
医療技術部	106名
事務部	157名



### 《放射線室内容》

#### 職員構成

放射線技師	20名
受付事務	1名
助手	1名
看護婦	1名

(看護部よりローテーションで配置)

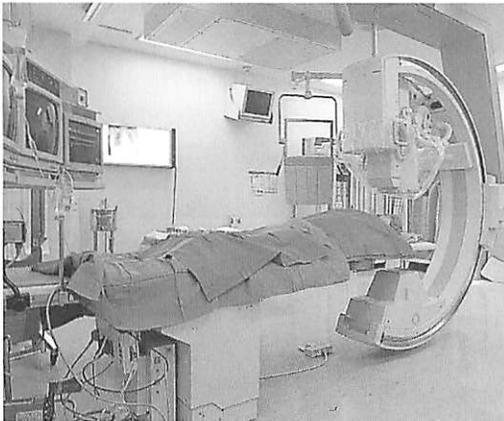
## 使用機器

### (病院)

一般撮影装置	4台
X線TV装置	3台
乳房撮影装置	1台
MR装置	2台
全身CT装置	2台
血管撮影装置	2台
核医学診断装置	1台
骨塩定量測定装置	1台
ポータブル撮影装置	5台
レーザーイメージャ	3台
自動現像機	2台

### (検診)

X線TV装置	1台
胸部用X線診断装置	1台
自動現像機	1台



## 業務内容

第3次救急医療機関として365日当直者を置き、救急医療に迅速に対応しています。

平常の業務に対しては、業務内容別に5班に分けています。各班の責任者は長期ローテーションとし期限は決めておりません。班員は少なくとも1年以上のローテーションとなっています。

班分けとしては、一般撮影、造影撮影は責任者は決めています。班員はおりません、血管撮影班、CT班、MR・RI班の3班に班員を割り振りしています。班員のいる血管撮影班、CT班、MR・RI班内の業務については基本的には1週間ローテーションとして班員が仕事をしますが、一般撮影、造影検査、ポータブル補助員、又検診は班の中のローテーションの谷間の技師が毎日交代で行っています。

### (一般撮影室)

3名で乳房撮影も含めて行います。

### (X線TV室)

2名で担当しますが、欠員の場合は午後より検診後の技師が加わり2名で行います。

### (ポータブル撮影)

当日の当直者と、補助者の2名で行います。

### (血管撮影室)

シネアングロは1名、頭部、腹部DSAは2名で行い、都合3名で行います。

### (CT室)

技師2名とローテーション看護婦1名で行います。

### (MR・RI室)

MR室に2名、RI室に1名です。

### (骨塩定量測定室)

ほぼ専任者が行います。

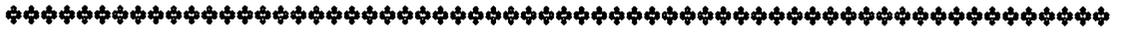
### (検診)

当直等の関係から3日ローテーションで行っています。

## 《今後について》

放射線機器のデジタル化を目指すのは勿論、各検査室が離れているのでマンパワーに頼るしかないのですが、その中からより高い技術の向上に各自努力したいと思います。



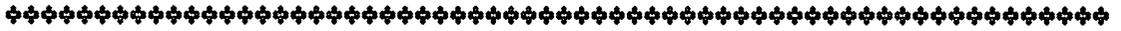


フリートーク

# レントゲン車の中

(財)結核予防会静岡県支部沼津分室

渡井 雅文



この「しずおかジャーナル」の“フリートーク”を依頼された時、引き受けたのは良いけれども、いざ原稿を書こうとワープロに向かったが、ふだん趣味などは結構広いほうだと思っていたが、題材が全く出てきませんでした。ここ数年“酒”の量は増えたけれども（周りに飲んべいが多いため→背て名前は出しませんが）どんどん無趣味の方向に向かっているのだぁ〜と、改めて気が付きました。さて、題材は何にするか、趣味が狭いことから仕事の話しかないのではないか、だったらレントゲン車だな。こんな訳で『レントゲン車の中』に決まりました。

私達の「結核予防会」は、特に胸部担当者は4月からが本番で、高等学校、短大、専門学校などから始まり、市町村、事業所などの検診業務を行っています。ご存じのように高校1年生は、昔と違いツ反で強陽性の者以外は、ほとんどの生徒が初めて胸部写真を撮るので、レントゲン車で何をするのか解らないのが大半です。

4月から5月は静電気が多く発生し、学生を5、6人待合室に入れると肩とか腕とかが触れ合って静電気が“バカ近寄るな”などと大騒ぎです。撮影台の前に立つと緊張している子、ニコニコしている子、ステップが上がると喜ぶ子、訳の分からないうちに撮り終わってしまいキョトンとしている子など様々です。またシャッターの開く音が大きくて、これが叩かれた様に聞こえるらしく、撮り終わった子が『痛い〜』と言って脅かすと『おい、痛いだってヨ!』とワイワイ、ガヤガヤ。そこですかさず『タバコを吸っていると痛いぞ!吸っているかどうか解ってしまうぞ!』と言うと、『ヤベ〜』とまアこんな具合です。

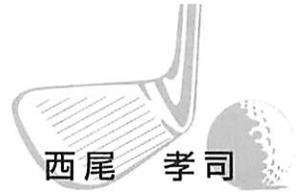
学校検診が終わると、早い所では5月中頃から6月初めには住民・業者検診、事業者検診が始まります。ここでは住民検診を中心に触れてみたいと思います。この検診は、下は19歳から上は80歳代から90歳代位まで、千差万別な人々が検診を受けに参ります。特に“おじいちゃん、おばあちゃん”達がなかなかほのぼのとしていいものです。おじいちゃんは無愛想な人、元気な人などあまりバラエティー差はないけれども、おばあちゃん、これがなかなか面白い。例えば、肌着にボタンがあり『おばあちゃん、この下着脱ごうね』と言うと『脱ぐのかね?あたしゃやだよ』とこう言うおばあちゃんは、かわいそうだけれども後ろがかえているので『ごめんヨ、脱ごうね』と言って強引に脱がすと素直に脱いでくれます。

そういう老人がいるかと思うと『えいよ、えいよ、もうこの歳だもの、へへへへ〜』と言って脱いでくれます。それでも本人は恥ずかしそう。また検診に来ていながら『わたしゃ今更やだよ〜』でも撮影が終わると、有り難う、有り難うと言って喜んで貰えることもあります。蛍光板の前で、『顎が届かない』と騒ぐ人、A→Pで蛍光板の前に立つ人、チョット目を離すとミラーカメラの前にちゃっかり立っている人、それにブラウスを身に付けた女性が前をあけて立っている場合もあります。そのほか狭いレントゲン車の中で、人生の縮図のような色々なシーンが繰り広げられております。考えようによっては、レントゲン車の中もなかなか面白いものですよ。1度、レントゲン車で撮影なさってはいかがですか。

## ゴルフに目覚めて明け暮れて

聖隷三方原病院

西尾 孝司



現在、当画像診断部ではちょっとしたゴルフブームが巻き起こっています。技師長を始め諸先輩の方々、同僚、後輩はもちろんのこと、女性技師までもがブームに乗り遅れない様にと日夜ゴルフクラブを握りしめています。そんな中で、自分も今や誰にも練習量なら負けない位にゴルフにはまってしまいました。と言ってもゴルフを初めて3ヶ月程しかたっていませんが……。

昔はゴルフと言えば金持ちのスポーツ、年寄りのスポーツといったイメージが自分の中にあり、なかなか自分に取り入れることができませんでした。それが始めてみると、何とおもしろいことか!!こんなに楽しいことならもっと早く始めれば良かったと今では後悔すらしています。何でこんなに夢中になったかといいますと、あれは5月のとある休日に画像診断部でゴルフコンペが開催されました。それまでは練習場に数回行ったことがある位の経験しかありませんでしたが、昔、野球をやっていたこともあるし、ましてや止まっているボールなんだから、と軽い気持ちで参加を申し込みました。今思うとその時は、はっきり言ってゴルフをなめてましたね。それでも全く練習をしないで、という訳にはいかず、コンペの1週間程前に数人で練習場へ行き、100~150球位打ったと思うのですが1球すらまともに前へ飛びません。それどころか(僕は寝違えたと思ったのですが)次の日、首の右側が痛くて首が回らなくなりました。一緒に練習へ行った人達は、それはダフリ過ぎが原因だぞと言ってましたが、確かに地面ばかり叩いていた様な気がします。このままではまずいと思い、そこからの1週間は鬼の様に練習をしました。さらに首が痛くなるぞといった周りの声など

無視して、仕事が終わるか終わらないか位に病院を飛び出し、練習場の電気が消されるまでボールを打ちまくりました。幸いにも1から指導してくれた人がいたので助かりました。この場を借りてお礼申し上げます。

そんなこんなで何とか短いアイアンなら前へ飛ばせる位になり当日を迎えました。青空の下、緑の絨毯が敷き詰められた空間へボールを飛ばす気持良さ、生まれて初めて放つティーショットがナイスショットでフェアウェイキープ、おまけにドラコンまで獲れたらどうしよう…などと考えていたら、結果はこれ以上ない大雨で実力通りのチョロ、その後ダフリ、トップの繰り返しで大雨の中を一人走り回って何とか134回でホールアウト。それでももうゴルフなんか絶対にやらないとは思わず、すごく疲れたけど、すごく悔しかったけど、とても楽しくおもしろく初ラウンドができました。その後、ドライバーを購入し寝る間も惜しんで日々練習に励んでいます。

まずは100を切ること。そしていつの日か青空の下で気持ち良くゴルフをしたいと思いがら今日の1日が終わります。

いかんせんゴルフはお金がかかる。コースへ出なくても毎日の練習でもかなりのお金がかかる。どなたか、ものすごく安いコースがありましたらぜひ紹介して下さい。



## 私のモンゴル旅行記

聖隷健康診断センター

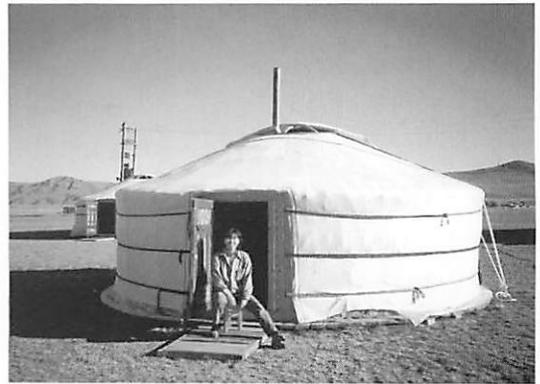
高藤 衣佐子

私は昨年の夏に関西空港から3時間半で到着するウランバートルと、一昨年の夏到北京より軽飛行機で2時間の中国は内モンゴルのシリンホトへと、モンゴルの大地に足を踏みいれました。

モンゴルは今や、相撲の旭鷲山の出身地としてお馴染みですが、その昔は騎馬民族のチンギス・ハンが勢力を広げたことも史実、ロシアと中国の狭間の戦いで国境を引かれ、モンゴル共和国と中国の内蒙古自治区に2分されてしまったのも史実です。

シリンホトは飛行場も草原の中。さらに車で20分、360°見渡すかぎり木一本も見えない草原の地平線を進み、遊牧民家の移動式住居（中国名はパオ モンゴル名はゲル）に到着。陽に焼けたモンゴル人の一家の笑顔とチャイとチーズの歓迎を受け、パオを借りて泊まりました。パオは直径6～8m。折りたたみ可の木の骨組みを組み、布皮で包みヒモで縛る行程で、3～4人の大人が50分程でできる。パオ作りの体験や毎日の生活に必要な水の為に3km先の井戸まで牛にタンクを引かせ、井戸の水を汲む子供達のたいへんな日課を少し手伝ったり、牛の乳しぼり、牛羊の放牧など遊牧民の生活を垣間見ました。さらに、羊一頭を一滴の血も大地に落とすことなく皮をはぎ、肉・内臓をさばっていく様子をまのあたりにしましたが、それは残酷というものでなく生きていく為に羊も覚悟していた様に静かに行われていきました。血も腸につめ湯がいて食料としているそうです。余談ですが、遊牧民はじゃがいもを食べないそうです。最近では定住化して栽培している民もいるのですが、馬頭琴を聞いたり、一日中草原をながめ自然の中にいる休日は、心に安らぎを覚えました。

ウランバートルは首都ですので高層ビルやデパート、工場、高層アパート群など街は整然としています。街を少し離れるとゲル群がみられます。観光としてはゴビ砂漠で発掘された恐竜の化石や、モンゴルの動物の剥製がたくさんある博物館、各国から献上された動物の剥製（キリン・海亀などもあるのに驚き）や、曼陀羅などの展示の



あるボクドハン宮殿やチベット仏教のガンダン寺があります。観光とは別に私のモンゴルでの旅の目的である、3日間大草原を馬で駆ける為に車で40分程の草原にシャワー、トイレ付レストハウスがある観光客用のゲルを起点に、背高140cmほどのモンゴル馬に乗り、大草原の向こうの岩山とか林をぬけ小川を渡り、清流のほとりでのピクニックランチは少し優雅な気分です。草原ではバッタが飛びかい、エーデルワイスの花があちらこちらで見ることができました。途中立ち寄った民家では馬乳酒とチーズの歓迎を受けました。その日、偶然空を見上げると太陽にリング上の虹がかかっているのを見た時、モンゴル人ガイドが「天気が変わるかも」とつぶやくと、他にも何か意味がありそうな気配を感じたのは私の思いすぎかもしれないが、その夜はだんだんと冷え込み、真暗い草原の360°視界をさえぎるものがない天体は天然の天球儀と化し、今にも降ってきてそうな満天の星は寒さの中でひとしお感激しました。その翌朝の9月1日、霜が降りました。その日の昼、ウランバートルのホテルで知ったダイアナ元妃の訃報は少しショックでした。帰路、一行の中にいたNs.は、草原でひろった牛の大腿骨をDr.へのみやげにと手荷物に入れ、当然の如くX線でひっきり没収となった珍事件もありましたが、モンゴルの大自然は、いつも私のハートをリフレッシュしてくれます。今度はどこに行こうかしら。

# 3市病院 放射線技師 人事交流

市立島田市民病院

焼津市立総合病院

藤枝市立総合病院

## 「3市病院職員人事交流」

藤枝市立総合病院 診療技術部長 本杉 幸一

島田市、藤枝市、焼津市自治体3市の病院専門職種が平成10年4月より初めて人事交流することになった。病院長多種多様で複雑な職場は他に類を見ることが難しいといわれるが、病院職は人事院の給料表からは医療職(1)(2)(3)と行政職の4分野に配分されている。これを動かすことは基本的に無理であり、今後も存続されて行くものと思われる。反面人事に於いては小回りの利く地方の市として藤枝市(人口13万人)は、今から19年前(昭和54年)部科(課)制が病院に於いても条令改定され、診療部(医(1))、診療技術部(医(2))、看護部(医(3))、事務部と4部制となり組織図として制定されたが、診療技術部が機能化するには時間を要した。当藤枝市に於いては平成8年より周りの方々のご理解のお陰で、完全に近い人事状態に整理され遅まきながらヨチヨチ歩きの診療技術部が独自で立つことができた。今後広域化時代に対応して行くこと、そして各職場、各職種の活性化を計る目的で交流提案を出し承認され、3病院が各々診療放射線技師1名、臨床検査技師1名の計6名の出向(移動)をすることが達成できた。そして平成10年7月現在4ヶ月を過ぎ今日に至っている。広域化に対応する認識と活性化の雰囲気、情報交換は充分伝わって来ている感じである。次なるステップに向け診療技術部の放射線科、超音波科、臨床検査科、臨床病理室、薬局、臨床栄養科、臨床工学科、リハビリテーション科全体が総まり病院医療と云うものを今まで以上高いところより、器も大きいものとして観ていくことが必要かと考える今日である。同時に社会に対し病院のなかには診療技術部ありと、チーム医療をより大きく確立するためにもアピールする必要がある。

焼津市立総合病院 → 市立島田市民病院

加藤 久佳

この4月より三市人事交流の事業が始まりました。私がこの事業を知ったのは昨年11月初旬のことでした。偶然にも当時互助会の理事をやっておりまして親しかった人事課の方にこのことを聞きましたが、まさか自分が初年度に当たるなんて思ってもみなく、正月を楽しく過ごした1月15日、やはり人事課の方に「加藤君よかったね。4月から仕事やらなくていいじゃない」と言われ、一瞬

何のことか解らず「何それ」と聞き直しました。

「えっ、聞いてないの。まずいよ、今の忘れて」なんてやり取りがあり、この時点で1番くじを引いたことを知り、後はどうしよう、どうなるのか、何をすればいいのか、もうしばらく放心状態。(ちなみに嫌なことにはよく1番くじを引く私です) しかも人事課からのマル秘情報、超ホットな情報、内定を知る人はほんのわずか。1番目の辛さ何があるのか解らない、解らないことばかり。3月半ば正式に派遣が決まり、やっと本人スッキリと覚

悟を決め3月31日焼津市で辞令交付、4月1日島田市で辞令交付を受け、その後より勤務に就きましたが、病院の仕組みも違えば、撮影機器も違う、ましてやよそもんが1人何をしてよいやら……と言うようなことでスタートし4ヶ月が経過し今現在とは言いますと、これがまた結構楽しく、市立島田市民病院のみなさん方も大変よくしてくれまして、毎日今日は何があるのだろうとワクワク仕事しております。またの機会に続報を。

#### 市立島田市民病院 → 藤枝市立総合病院

横田 政則

島田市民病院から藤枝市立総合病院へ派遣されてから早くも4ヶ月が過ぎました。2月の中旬頃話がありましたが、そのころ私は超音波部会での発表の準備、自分の結婚式やアパートなど新居の準備と非常に忙しく“そんなこと急に言われても困るし、今年だけはどうかならないのか？”とっていました。また4月中旬に新婚旅行の予約をしてしまったので、このまま藤枝に行ったら早々迷惑をかけるなあと思いつつ、1年間であることと、よその仕事のやり方を見てくるのは自分にとっても、病院にとってもプラスになるのではという思いもあり1年間頑張ることにしました。藤枝での最初の3日間は一般撮影の手伝いや島田と違う撮影法を教わったりしていましたが、その内に1人で撮影するようになると撮影機器、場の雰囲気、撮影方法などの違いになかなか慣れることができず、ロスフィルムを増やし“戦力として”と言われて来たにも係わらず気を使わせてしまい、みなさんの足を引っ張るばかりでした。(全くの新人に戻ってしまった気分でした)しかし、派遣されたことにより藤枝の技師の方々をはじめ、いろいろな職種の人と知り合えて良かったと思います。また島田に無い良い点や、藤枝にはない島田の良い点を感じることもできました。初めの頃は新居のある豊田町からの通勤も億劫で仕方なかつ

たこともありますが、5ヶ月が過ぎ少しは慣れてきたような気もします。来年の4月には藤枝の良いところをなるべくたくさん島田に持って帰りたいと考えております。

#### 藤枝市立総合病院 → 焼津市立総合病院

中村 寛次

平成10年4月より焼津、藤枝、島田の3市において、診療技術部の人事交流が行われるようになりました。十数年勤めた病院から他の病院への派遣、初めてのことでありとにかく不安である。病院全体の機構の違い、装置の違い、使用材料の違い、撮影時のルーチンの違いと勉強しなければいけないことばかり。1年間いるとなるとお客さんでいるわけにはいきません。実際働いてみるといろいろ気が付くことがあります。同じ件数をこなすにも患者さんの待ち時間が少ないこと。ちょっとした補助具の利用により、時間がかかって大変だと思っていた撮影が簡単にできること。CTでは病気を考えて如何に撮影するか技師自身が決め、被曝も考慮し撮影電圧を変化させたプロトコールにしていること。他の病院に出てみると自分達の病院との比較、再確認ができます。派遣されてから4ヶ月、やっと病院に慣れてきたところ。初心に戻って基礎から勉強しなければと考える今日この頃です。

編集委員会では地区会や有志による研修会の報告、参加者募集、また会員の活躍紹介等、随時募集しています。

会員に役立つ情報、HOTな情報をどしどしお寄せください。

# メッセージボード



## 東部地区

### ◎経過報告

- 6月3日 第2回幹事会  
 (株)田方保健医療対策協会附属病院  
 ・県技師会報告(三井田副会長)  
 常任理事会報告  
 第14回通常総会報告  
 第3回学術大会報告  
 ・県親善ソフトボール大会(県事業)について  
 ・東部地区ボーリング大会について  
 ・第2回放射線セミナーについて  
 ・その他
- 6月9日 議事録(第2回幹事会)等の発送
- 6月14日 県親善ソフトボール大会予定日  
 (雨天のため7月26日へ延期)
- 6月27日 東部地区ボーリング大会  
 柿田川パークレーンズ  
 43名参加
- 7月22日 地区だより(Vo1.2)発刊
- 7月26日 県親善ソフトボール大会  
 裾野市陸上競技場多目的広場  
 18名参加
- 8月5日 第3回幹事会  
 ・平成10年度下半期事業(日程及び内容等)について
- 8月17日 地区だより(Vo1.3)発刊
- ◎行事予定
- 9月12日 第2回放射線セミナー  
 三島市民文化会館
- 9月30日 第4回幹事会開催予定
- 10月4日 障害者の胃無料検診
- 10月25日 サッカーフェスティバル in 静岡
- 11月18日 第5回幹事会
- 11月28日 第3回放射線セミナー
- 11月29日 第1回胃がん検診従事者講習会

## 中部地区

### ◎経過報告

- 6月11日 第1回勉強委員会
- 6月24日 第2回幹事会
- 7月2日 「第4回静岡県放射線技師学術大会」  
 第1回打ち合わせ
- 7月8日 第3回編集委員会
- 7月14日 「身障者無料検診」第1回打ち合わせ
- 7月17日 中部地区会NEWS夏号発行
- 7月26日 県親善ソフトボール大会
- 8月10日 「身障者無料検診」第2回打ち合わせ
- 8月24日 「身障者無料検診」第3回打ち合わせ
- ◎行事予定
- 9月2日 第3回幹事会
- 9月20日 身障者無料検診  
 (雨天の場合は9月23日に延期)

- 9月26日 第2回放射線セミナー及び第1回胃がん検診従事者講習会
- 10月 中部地区会NEWS秋号発行
- 11月11日 第4回幹事会
- 11月21日 第3回放射線セミナー
- 11月28日 第2回レクリエーション  
 ボーリング大会 静岡市・アピア

## 西部地区

### ◎経過報告

- 5月23日 西部地区ソフトボール大会  
 第7ブロック優勝 100名参加
- 5月28日 第1回編集委員会  
 ・今年度1回目の西部TIPS発行に向けて  
 ・役割分担
- 6月8日 第4回幹事会  
 ・県技師会経過報告  
 ・各委員会報告  
 ・西部地区会規約の見直し検討
- 6月29日 第2回勉強委員会 第2回組織委員会  
 ・第1回勉強委員会について  
 (内容検討)  
 ・規約改正について
- 7月13日 第5回幹事会  
 ・県技師会経過報告  
 ・各委員会経過報告
- 8月6日 第2回レクリエーション委員会  
 ・鮎の掴み取りの役割分担について
- 8月9日 第2回レクリエーション  
 鮎の掴み取り  
 竜ヶ岩洞鮎狩り園 116名参加



### ◎行事予定

- 8月31日 第3回勉強委員会
- 9月7日 第6回幹事会
- 9月26日 第1回勉強会(名鉄ホテル)
- 10月12日 第7回幹事会
- 11月9日 第8回幹事会
- 11月21日 第2回勉強会(未定)

# 本 会 の 歩 み

(平成10年5月26日から平成10年8月27日まで)

- 5/30 第14回(社)静岡県放射線技師会通常総会  
-31 第3回静岡県放射線技師学術大会  
(カリアック)  
263名参加
- 6/4 第3回編集委員会 (技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・大村・奥川・近藤
- 6/6 50年史編纂委員会 (技師会事務所)  
小林・宮本・白鳥・野毛・田島・殿岡  
大木・森・塚本・竹山・庄・吉村
- 6/10 第4回編集委員会 (技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・大村・奥川・近藤
- 6/11 第5回常任理事会 (技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田  
東山・奥川・八木・塩津・青島
- 6/15 50年史編纂委員会 (技師会事務所)  
小林・宮本・白鳥・山田・鈴木・上田・野毛  
田島・藤岡・森・塚本・竹山・東山・庄・吉村
- 6/17 第5回編集委員会 (技師会事務所)  
森・三輪・名越・奥川・近藤
- 6/19 発送作業 (技師会事務所)  
吉村・庄・伊藤・森・前田・奥川・八木  
塩津・青島
- 6/20 第13回超音波部会研修会(もくせい会館)  
杉山・滝口・遠藤・安池・西尾・山本・奥川  
秋山・大石・伊吹・石井・川嶋・北川
- 6/25 第6回常任理事会 (技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・森・前田・東山・奥川  
八木・青島
- 7/1 第6回編集委員会 (技師会事務所)  
森・三輪・名越・奥川・近藤
- 7/2 第4回静岡県放射線技師学術大会打合せ  
(藤枝エミナース)  
吉村・庄・森・飯塚・鈴木康・市川・永井・杉田  
武井・後藤・鈴木範・高橋・松下・本杉
- 7/4 東海北陸地域会長会議 (鈴鹿市)  
吉村
- 7/7 第7回常任理事会 (技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田  
東山・奥川・八木・塩津・青島
- 7/6 第3回静岡県放射線技師学術大会決算  
庄・東山 (技師会事務所)
- 7/7 機器固定打合せ(県庁健康福祉部指導課)  
吉村
- 7/8 第1回放射線技師の役割実践委員会  
(技師会事務所)  
殿岡・桑沢・大原・杉田・小池・大木  
太田・浅野・吉村
- 7/9 第1回MRI部会役員会(技師会事務所)  
石津・菊池・中道・川瀬・戸塚・篠田  
高木・吉村・八木
- 7/10 第7回編集委員会 (技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・大村・奥川・近藤
- 7/19 平成10年度放射線セミナー(もくせい会館)  
68名参加
- 7/22 50周年事業実行委員会 (技師会事務所)  
吉村・大石・三井田・庄・田島・八木  
奥川・東山・森・小林・宮本・前田
- 7/24 50年史予算 (技師会事務所)  
庄・東山
- 7/31 第8回常任理事会 (もくせい会館)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・東山  
奥川・八木・青島
- 8/2 第2回全静オープンテニス大会  
(藤枝エミナース)  
9組18名参加
- 8/7 祝辞依頼 (県庁健康福祉部指導課)  
吉村
- 8/8 50年史 市立島田市民病院に搬入  
白鳥・吉村・田島・殿岡・東山・藤岡  
森・大石・山崎・和田
- 8/12 50周年記念事業実行委員会(技師会事務所)  
吉村・大石・三井田・庄・田島・奥川  
東山・森・小林・宮本
- 8/19 50年史編纂委員会 (技師会事務所)  
白鳥・小林・宮本・吉村・田島・庄・東山  
大木・森・塚本・竹山
- 8/21 第2回MRI部会役員会(技師会事務所)  
石津・菊池・中道・川瀬・戸塚・篠田・高木
- 8/26 第8回編集委員会 (技師会事務所)  
森・大木・三輪・奥川・近藤
- 8/27 災害緊急時対策研修会講師について  
(地震防災研究所・中部原子力懇談会)  
吉村・三井田
- 8/27 第8回常任理事会 (技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・伊藤・森・前田・東山  
奥川・八木・塩津・青島

## 本会への寄贈図書

(平成10年6月4日～平成10年9月2日まで)

- 6 / 17 第1217号静岡県医師会報  
福岡県放射線技師会誌第232号
- 6 / 22 茨城県放射線技師会誌  
-ときわ- VOL.10-2  
東京放射線第45巻第6号
- 6 / 29 大放技会報6月号 No.122
- 6 / 30 放射線技師会報 第103号  
(社)岩手県放射線技師会
- 7 / 2 第1218号静岡県医師会報  
静臨技ニュース 第101号
- 7 / 3 (社)兵庫県放射線技師会会誌Vol.58 No.1  
Shaukasten 兵放技ニュースNo.174
- 7 / 6 MEDICAL NOW Summer1998 No.35  
埼玉放射線第141号  
東京放射線第45巻第7号  
京放技ニュース 7/1998 (通算458号)
- 7 / 7 日本放射線技師会雑誌第45巻第7号  
INFORMATION第39号 (社)茨城県放射線技師会  
宮崎県放射線技師会会誌'98-6 Vol.64
- 7 / 9 熊本放射線第162号  
社団法人宮崎県放射線技師会会報  
第33号 (Vol.67)
- 7 / 13 会報すいせん63号 (社)福井県放射線技師会  
愛媛放射線No.41 1998.夏号
- 7 / 16 生涯学習情報誌 マナビットだよりNo.53  
第1219号静岡県医師会報
- 7 / 21 放射野No.78 (社)長崎県放射線技師会
- 7 / 22 LATITUDE 40N 秋放技ニュース通刊41  
福島放技ニュース第50号
- 7 / 23 静岡県グラフ広報誌ふじのくに'98夏 53号
- 7 / 27 コンベンションしずおか1998 SUMMER No.34
- 8 / 3 第1220号静岡県医師会報  
京放技ニュース 8/1998 (通算459号)  
大放技会報7月号 No.123
- 8 / 4 東京放射線第45巻第8号  
会報No.64 (社)石川県放射線技師会  
Schaukasten兵放技ニュースNo.175  
広放技 News Letter No.30
- 8 / 6 日本放射線技師会雑誌第45巻第8号
- 8 / 7 静臨技ニュース第102号
- 8 / 10 福岡県放射線技師会誌第233号
- 8 / 11 静岡県主要施策広報誌 躍進静岡第27号  
放射線技師会報第104号  
(社)岩手県放射線技師会  
福島放技ニュース第51号  
放射線やまぐち第161・162号
- 8 / 17 第1221号静岡県医師会報  
大分放射線第32号
- 8 / 24 MIE RADIOLOGIC TECHNOLOGY Vol.49 No.1
- 8 / 28 埼玉放射線第142号
- 8 / 31 京放技ニュース 9/1998 (通算460号)  
大放技会報8月号No.124  
Schaukasten兵放技ニュースNo.176
- 9 / 1 静臨技ニュース第103号
- 9 / 2 東京放射線第45巻第9号

# 会 員 動 静

(平成10年6月18日～平成10年9月2日)

## 【新入会】

東部 谷本 哲也 医療法人社団健育会 西伊豆病院  
 東部 猪瀬 学 慶應大学月ヶ瀬リハビリテーションセンター  
 東部 瀧澤 昌丈 慶應大学月ヶ瀬リハビリテーションセンター  
 東部 加藤 幸助 西島脳神経外科病院  
 東部 小林 邦和 富士宮市立病院  
 中部 鈴木 吉信 藤枝平成記念病院  
 中部 深澤 公雄 藤枝平成記念病院  
 西部 中山 正巳 町立浜岡総合病院  
 西部 井上 和康 磐田市立総合病院  
 西部 平野さおり 磐田脳神経外科病院  
 西部 土屋裕一郎 協立十全病院  
 西部 小野 晴美 浜松東病院  
 西部 猿田 忠司 総合病院浜松赤十字病院  
 西部 村松 真也 総合病院浜松赤十字病院  
 西部 松岡 千秋 総合病院聖隷三方原病院  
 西部 広瀬 愛 総合病院聖隷三方原病院  
 西部 鈴木 啓洋 聖隷予防検診センター  
 西部 市川 篤史 国立浜松病院

## 【転入】

東部 加藤 直美 国立東静岡病院  
 西部 成田 廣幸 浜松医科大学医学部附属病院

## 【転出】

東部 谷勇 次郎 栃木県へ  
 西部 下林 卓次 愛知県へ

## 【退会】

東部 朝倉 正昭 裾野赤十字病院  
**【勤務移動】** (新勤務先)  
 東部 石樽 隆澄 退職  
 西部 大石 哲也 磐田市立総合病院

## 【改姓】

中部 近藤 聖乃 自宅  
 (旧姓 田中)

## 【ご結婚おめでとうございます】

中部 山田 浩之 藤枝市立病院  
 中部 酒井 美香 自宅  
 西部 藤田 智幸 共立湖西総合病院

## 【事務所移転】

社団法人 福島県放射線技師会  
 〒960-8055 福島市野田町3-3-2  
 TEL・FAX 024 (536) 1242  
 社団法人 新潟県放射線技師会  
 〒950-0822 新潟市新岡山2-1-18  
 TEL 025 (257) 2255  
 FAX 025 (257) 2256

会員数	889名
東部	242名
中部	327名
西部	320名 (平成10年6月17日現在)

## 会費納入期限は9月30日となっています。

納入の遅れは会の運営に支障を来します。また未納者への請求にも費用がかかり、貴重な会費を無駄にすることにもなりますので、速やかな納入をお願い致します。なお、2年以上納入されない場合には除名の対象となります。

# 平成10年度 第2回理事会 報告

平成10年9月5日(土)午後2時より5時まで静岡県総合社会福祉会館6階第3会議室にて、第2回理事会が25名の出席を得て開催された。

議事録署名人 塩津理事 東山理事

議事は庄副会長の司会により、吉村会長の挨拶に続き各報告事項から議事が進められた。

## 1. 会長報告

- 日放技第55回通常総会にて(5/15,16)平成10年度テーマ『世界大会の成功』臨床指導者認定について単位認定研修について『たのしいJART』の普及について
- 県技師会第14回通常総会、第3回県技師会学術大会が盛況のうちに行われた(5/30,31)
- 50年史の編纂を終え、10/17発刊予定
- 在宅医療におけるX線撮影装置の安全な使用について

## 2. 『楽しいJART』歌唱練習(出席者全員)

## 3. 協議事項

### ①第1回胃癌検診X線撮影従事者講習会について

- 東部 11/29(日)予定、詳細は後日
- 中部 9/26(日)第2回セミナーと同日開催 場所は日興会館
- 西部 9/26(日)第2回セミナーと同日開催 場所は名鉄ホテル

### ②第2回放射線セミナーについて

- 東部 9/12(土)三島市民文化会館にて行う
- 中部 胃癌検診従事者講習会と同日開催
- 西部 胃癌検診従事者講習会と同日開催

### ③ISRR T世界大会について

- 9/19~23 5日間行われる
- 県内からは51名の参加予定

### ④身障者胃無料検診について

- 東部 10/4(日)田方郡の視力障害者を対象に臨床検査技師会とタイアップして行う
  - 中部 9/20(日)第20回静岡ふれあい広場にて障害者を対象に行う超音波部に協力要請
  - 西部 掛川市立病院を中心に協議中
- ⑤静岡県放射線技師会創立50周年式典について
- 10/17(土) 13:00~19:30 ホテルアソシア静岡ターミナルにて行う
- ⑥第14回超音波部について
- 11/7(土)、もくせい会館にて脳血管の超音波診断について行う
- ⑦第6回サッカーフェスティバルIN静岡について
- 10/25(日) 9:30より 藤沢薬品工場グラウンド(富士市)にて行う予定
- ⑧災害緊急事対策研修会
- 地震・原子力編について
  - 11/14(土)、地震編原子力編同日開催
  - 機器固定に関するアンケートへの協力要請
- ⑨第3回放射線セミナーについて
- 東部 11/28(土)予定 詳細後日
  - 中部 11/21(土)メディアシティーにて行う
  - 西部 11/21(土)予定 詳細後日
- ⑩第7回MRI部会研修会について
- 10/3(土)もくせい会館にて行う
  - MRIテクニカルテキスト配布予定
- ⑪肺がん講習会について
- 対がん協会と協議中
- ⑫その他
- 地区会費の納入率が悪い
  - 日放技、県技師会会費納入率が悪い 現在65%位の納入率

以上の協議事項は全員の挙手により承認された。次回、平成10年度第3回理事会の開催は平成10年12月5日(土)を予定している。

# 新入会員・転入会員紹介

大橋 尚子



【生年月日】 昭和50年6月9日  
 【出身地】 静岡県榛原郡金谷町  
 【出身校】 北里大学医療衛生学部  
 【勤務施設】 掛川市立総合病院  
 【趣味】 スキューバダイビング  
 【抱負】 信頼される技師になりたいです。

小野 晴美



【生年月日】 昭和51年5月15日  
 【出身地】 静岡県浜北市  
 【出身校】 岐阜医療技術短期大学  
 【勤務施設】 浜松東病院  
 【趣味】 ドライブ  
 【抱負】 放射線技師として自分が持っている知識を生かし、患者さんの利益を大きくしたいです。

清 広和



【生年月日】 昭和46年9月28日  
 【出身地】 静岡県富士郡芝川町  
 【出身校】 駒澤短期大学  
 【勤務施設】 富士宮市立病院  
 【趣味】 競馬、バトミントン、ゴルフ  
 【抱負】 より良い医療、やさしい医療を目指し、向上心を持った、思いやりのある技師になりたい。

成田 廣幸



【生年月日】 昭和21年12月23日  
 【出身地】 愛知県名古屋市  
 【前任地】 名古屋大学医学部附属病院  
 【勤務施設】 浜松医科大学医学部附属病院  
 【趣味】 音楽鑑賞、読書、落語  
 【抱負】 公私共により充実したものにしようと思います。

# 新入会員・転入会員紹介

齋藤友紀



【生年月日】 昭和48年 6月27日  
 【出身地】 静岡県清水市  
 【出身校】 鈴鹿医療科学技術大学  
 【勤務施設】 厚生連 中伊豆温泉病院  
 【趣味】 音楽鑑賞  
 【抱負】 一つのことだけにとらわれず、物事を広く考えるようにする。

加藤直美



【生年月日】 昭和38年10月2日  
 【出身地】 愛知県津島市  
 【前任地】 国立療養所恵那病院  
 【勤務施設】 国立東静岡病院  
 【趣味】 スポーツ観戦 及び テニス  
 【抱負】 患者さんやスタッフに信頼される人材となり自身もさらなる向上心を持って望みたい。

須藤晃代



【生年月日】 昭和52年 1月14日  
 【出身地】 静岡県小笠郡浜岡町  
 【出身校】 岐阜医療技術短期大学  
 【勤務施設】 青葉台福地整形外科消化器科医院  
 【趣味】 ピアノ、スキー  
 【抱負】 患者さんに頼りにされる技師となること。

中山雅巳



【生年月日】 昭和52年 2月17日  
 【出身地】 静岡県小笠郡浜岡町  
 【出身校】 岐阜医療技術短期大学  
 【勤務施設】 町立浜岡総合病院  
 【趣味】 ドライブ、夜遊び  
 【抱負】 信頼される放射線技師になる。

# 新入会員・転入会員紹介

三  
城  
千  
波



【生年月日】 昭和49年12月18日  
 【出身地】 愛知県豊橋市  
 【出身校】 鈴鹿医療科学技術大学  
 【勤務施設】 聖隷三方原病院  
 【趣味】 料理（作ること・食べること）  
 【抱負】 いつも患者さんの立場にたち、患者さんに安心してもらえる技師になりたいです。

平  
野  
さ  
お  
り



【生年月日】 昭和51年 5月17日  
 【出身地】 静岡県浜松市  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 磐田脳神経外科病院  
 【趣味】 音楽鑑賞  
 【抱負】 信頼される技師になれるように頑張りたいです。

猪  
瀬  
学



【生年月日】 昭和49年 5月10日  
 【出身地】 静岡県駿東郡清水町  
 【出身校】 鈴鹿医療科学技術大学  
 【勤務施設】 慶應月ヶ瀬リハビリテーションセンター  
 【趣味】 旅行  
 【抱負】 今は放射線技師になったばかりの初心者。様々な事を吸収し、技術向上に努めたい。

杉  
本  
友  
隆



【生年月日】 昭和50年 7月30日  
 【出身地】 静岡県志太郡大井川町  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 榛原総合病院  
 【趣味】 球技全般  
 【抱負】 医療人として思いやりを技師として向上を

## 新入会員・転入会員紹介

佐  
藤  
慶  
幸



- 【生年月日】 昭和50年 7月14日  
【出身地】 静岡県掛川市  
【出身校】 大阪物療専門学校  
【勤務施設】 森岡リハビリ整形外科  
【趣味】 バスケット  
【抱負】 常に向上心を忘れず患者さんに安心、信頼を与えられる技師をめざす。

## お知らせ

### 平成10年度 第3回放射線セミナー

#### 《東部地区》

- 【日時】 平成10年11月28日（土）  
【会場】 未定  
【内容】 未定

#### 《中部地区》

- 【日時】 平成10年11月21日（土）  
【会場】 メディアシティ 12F 百人劇場  
【内容】 講演1「私と超音波との出会いから今へ、そしてこれから」  
藤枝市立総合病院 超音波科 科長 杉山 高 先生  
講演2「スポーツ整形について」(仮題)  
清水エスパルス診療所一 福岡 重雄 先生

#### 《西部地区》

- 【日時】 平成10年11月21日（土）  
【会場】 未定  
【内容】 未定

- 【主催】 (社)静岡県放射線技師会 地区会  
エーザイ株式会社

生涯カウント数は1点です。

# わが家のシンちゃん紹介

今回はNTT伊豆通信病院の伊賀功会員と鈴木悦郎会員のお子さんを紹介します。

## 伊賀さんちの賢一（けんいち）くんと昌美（まさみ）ちゃん

9月で3才の賢一と1才半の昌美です。

けんちゃんはとてもパワフルでいたずらっ子、朝、目覚めてから夜寝るまで、さわいなり歌ったり動き回っている元気な子です。

最近、テレビのキングマンに夢中で、おもちゃ、おかしなどキングマンのものは全て大好きです。

将来は、「キングマンになって悪者を倒す！」と力強い抱負を語ってくれています。

まーちゃんは、お兄ちゃんがいるせいか、人形、ぬいぐるみというより、車のおもちゃを「ブーブー」といって床を走らせたり、テーブルや椅子によじ登って遊ぶことの好きなおてんば娘です。

この2人、仲は良いのですが、おもちゃの取り合いなどによるけんかは日常茶飯事で、娘の泣く声と母親の怒鳴る声は、止むことのない我が家です。



## 鈴木さんちの将太（しょうた）くんとあづきちゃんと岳浩（たけひろ）くん

ちーす！暴走3兄弟のまん中のあづきっす。今日は天気良かったんで保育園をフケて来ちゃったっす。あたいらみんなバイクが好きなんす。あたいはまだ運転出来ないんで、デブおやじのうしろに乗っけてもらっているっす。今バイクに乗っけてくれるカレシを募集してるんでその気のある人はWでヨロシクッス。将太兄ちゃんは恐がりなんだけどちょっと根性があるってパパの原チャを乗りまわしていて、パクられなきゃいいのさ！なんて言っているっす。あたいの隣りにいるのが弟のギャラドス岳浩で、最近ようやくつかまり立ちが出来るようになったばかりなのに凶暴で、すぐにかみつき攻撃をしてくるっす。でも普段は本当にかわいいっすから早くあたかも赤ちゃんがほし

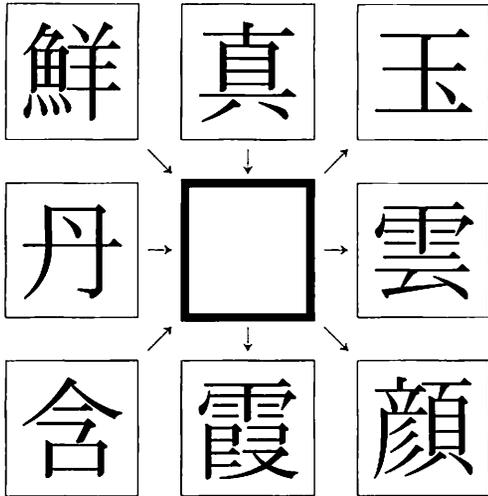
いっす。デブおやじは、酔っぱらって女子寮に入りびたる様なしよーもない男なんで、なんでこんな男とかわいいママが結婚したか本当に不思議っす。あたかも将来ママみたいに看護婦さんになって 白衣の暴走天使と呼ばれてみたいっす。その時にはみなさんコネをヨロシクッす。



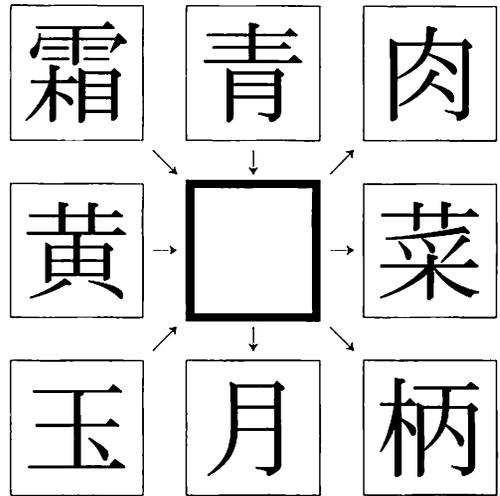
# 頭の体操

◎ □ に漢字 1 文字入れて 8 つの熟語をつくりなさい

もんだい 1



もんだい 2



前回の答え

もんだい 1 梅 もんだい 2 雨

## 応募方法

葉書に解答及び住所、氏名、施設名を明記の上、(社) 静岡県放射線技師会編集委員会宛にお送りください。正解者の中から抽選で 5 名様に素敵な景品をさし上げます。

なお、当選者の発表と解答は次号に掲載します。

締切は 11月20日(金)消印有効

※※ふるってご応募ください※※

応募総数 8 通の正解者の内、厳正な抽選により以下の方が当選されました。

おめでとうございます。

前回の当選者

清水 厚生病院 青木 隆

自宅会員 根本 亮

焼津市立総合病院 片瀬 和夫

伊東病院 鎌田 博幸

藤枝市立総合病院 秋山 徹一

(敬称略)

# 行事予定カレンダー (平成10年10月～12月)

	10 月		11 月		12 月	
1	木	↑ 日放技単位認定研修	㊥	サッカー予備日	火	
2	金	(人文・社会分野、講習衛生学など)	月		水	第13回常任理事会
3	土	新・臨床実習指導者移行コース1) 第7回MRI部会研修会	㊦		木	
4	㊥	↓ 障害者の胃無料検診(西部)	水		金	
5	月		木		土	第3回理事会
6	火		金		㊥	
7	水	第11回編集委員会	土	第14回超音波部会研修会	月	
8	木	第13回常任理事会	㊥		火	↑
9	金	↑ 日放技単位認定研修	月	↑ 日放技単位認定研修	水	第14回編集委員会
10	㊦	(医用画像技術学・	火	(放射線機器工学・	木	第17回常任理事会
11	㊥	↓ 呼吸器)	水	機器管理責任者講習)	金	
12	月		木	第15回常任理事会	土	肺がん検診講習会
13	火		金		㊥	↓ 日放技単位認定者研修
14	水		土	災害緊急時対策研修会	月	(新・臨床実習指導者講習会)
15	木	第14回常任理事会	㊥	↓	火	
16	金		月	放射線技師の役割実践委員会	水	
17	土	創立50年記念式典	火		木	
18	㊥		水		金	↑ 日放技単位認定研修
19	月		木		土	(医用画像技術学・
20	火		金	↑ 日放技単位認定研修	㊥	↓ 上腹部[肝・胆・膵])
21	水		土	(医用画像技術学[上部・下部消化管]) 第3回放射線セミナー(中部) 第2回勉強会(西部)	月	
22	木		㊥	↓	火	第15回編集委員会
23	金	↑ 日放技単位認定研修	㊥		㊦	
24	土	(画像機器工学・	火		木	第18回常任理事会
25	㊥	↓ 解明・USのハードとソフト)	水	第12回編集委員会	金	
26	月	サッカーフェスティバル	木	第16回常任理事会	土	
27	火		金		㊥	
28	水		土	第3回放射線セミナー(東部) ボーリング大会(中部)	月	
29	木		㊥	第1回胃がん検診撮影従事者講習会(東部)	火	
30	金		月		水	
31	土				木	

# 編集後記

- \*日本放射線技師会50周年、I S R R T世界大会、そして本会創立50周年と20世紀最後を飾るイベントが目白押しです。そのような中、もう一度原点に戻り21世紀のあるべき技師像に向け、全会員で一步一步前進していきましょう。必要ならばどしどし会誌紙面をご利用ください。 (森)
- \*8月の下旬の数日、家族のために夏休みを取り伊勢志摩へ家族旅行を行いました。1歳、4歳の悪ガキと妻のわがままにつき合わされあっちにこっちに大忙し。家族旅行に旅の旅情を味わうなど皆無だと改めて感じた数日であった。・・・・夏休み父は疲れる (奥川)
- \*今年の夏、慣れないスポーツのゲーム中に右手小指を骨折してしまい、生まれて初めての手術と入院生活を体験しました。患者さんの気持ちが少しは身近に感じられるようになりました。 (三輪)
- \*今年、明石大橋を渡って帰省してきました。瀬戸大橋は、雄大ですが明石大橋の方が上から眺める景色は何故か良かったように思えます。高さの違いもあるかもしれませんが、一度行って見てください。夜もワイヤー部分が七色に変化して綺麗です。 (名越)
- \*今回、編集でワープロの特殊な操作方法がわからず、とまどってしまいました。次回からは操作方法を熟知してがんばるゾ！ (近藤)
- \*2年前発行の「静岡ジャーナル Vol6 No2」で休みを取って家山へ行った話を書きましたが、今年も行ってきました。内容的にはほぼ同じ（今回はアンパンマンでしたが）。それなら夏期休暇でパルパルへと考えておりましたら、予定の2日前から『流行性耳下腺炎』に。どうも下のチビとは相性が悪いようです。 (大木)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.8 No.2 1998

平成10年9月22日発行

発行所 : 〒420-0839 静岡市鷹匠2丁目3-2 サンシティ鷹匠601号  
社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 吉村正己

編集者 : 森佳久

印刷所 : 〒420-0876 静岡市平和一丁目2-11  
(株)六幸堂 Tel (054) 254-1188

## 事務所案内

執務時間：月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで。 TEL (054) 251-5954  
執務時間外は、留守番電話にてお受けいたします。 FAX (054) 251-9690